



AutoConnect™ ミッドマウントモア 54D / 60D



オペレータマニュアル

**AutoConnect™ ミッドマウントモア
54D / 60D**

OMLVU35105 H8 版 (JAPANESE)

John Deere Augusta Works

輸出版
Printed in U.S.A.



概要

序文

John Deere 製品をご購入いただきありがとうございます。

このマニュアルを注意深く読んで、本機の正しい運転方法とメンテナンス方法を学習してください。そうでないと、けがや機器の損傷を招く恐れがあります。このマニュアルと機械上の安全標示ラベルは、他の言語でも入手可能です。(注文するには John Deere 取扱店に問い合わせてください。)

このマニュアルは機械の常備部品と見なし、機械を売却する場合は一緒に引き渡してください。

このマニュアルでは、メートル法、および対応するヤード・ポンド法の両方で寸法を記載しています。正しい交換部品と留め具のみを使用してください。メートル表記またはインチ表記の留め具には、特定のメートル表記またはインチ表記のレンチが必要になる場合があります。

「右側」と「左側」は、前進している機械またはインプルメントが進行方向に向かった状態で判断します。

製品識別番号 (P.I.N.) を「仕様」セクションまたは識別番号のセクションに記入してください。すべての数字を正確に記入しておく、盗難時に機械を追跡するために役立

ちます。この番号は取扱店で部品を注文する際にも必要になります。識別番号は機械とは別に安全な場所に保管してください。

保証は、このマニュアルの説明通りに装置の操作・メンテナンスを実行しているお客様に対して、John Deere サポートプログラムの一部として提供されています。保証に関しては、お客様が取扱店から受け取った保証証明書または納品書で説明されています。

この保証は、保証期間内に欠陥が確認された製品は、John Deere 社によって支援されることを保証しています。いくつかの状況において John Deere 社は、製品が保証期間を過ぎていても頻繁にお客様に無料で現場改善を提供しています。装置が悪用されたり、元の工場出荷時の仕様を超えた性能改造されたりした場合、この保証は無効となり、現場改善も拒否されます。燃料供給量を規格以上に設定したか、何かしら機械に過剰に動力供給するとそのような動作になります。

この機械の元々の所有者でないお客様は、このユニットのシリアルナンバーを John Deere 社の販売店に伝えてください。これにより、John Deere 社は製品の問題や改良についてお客様に迅速に通知できます。

DX,IFC10A-40-03APR09-1/1

目次

	ページ	ページ
製品識別		トレーラーによる機械の輸送 40-2
製品の互換性.....	00-1	
識別番号の記録.....	00-1	取り外しと保管
		モアの取り外し..... 35-1
安全ラベル		モアの保管..... 35-2
安全標示ラベルの交換.....	05-1	
安全ラベル.....	05-1	整備
		整備間隔..... 45-1
安全		グリース..... 45-1
安全情報の確認.....	10-1	ギアオイル..... 45-1
シグナルワードについて.....	10-1	モアの潤滑..... 45-1
安全上の注意事項の順守.....	10-1	ギヤボックスの整備..... 45-2
緊急事態に対する準備.....	10-2	モアベルトの整備..... 45-2
保護服の着用.....	10-2	モアの刃の整備..... 45-3
騒音対策.....	10-2	ホイールの交換..... 45-6
トレーニング.....	10-2	シーブの交換..... 45-7
準備.....	10-3	
作業.....	10-3	トラブルシューティング
メンテナンスと保管.....	10-4	トラブルシューティング表の使用..... 50-1
芝刈りエリアの確認.....	10-4	モアデッキのトラブルシューティング..... 50-1
機械の安全な駐車.....	10-4	モアデッキの接続のトラブルシューティング..... 50-2
回転中のブレードは危険です。.....	10-5	
後退時の事故の回避.....	10-5	仕様
子供を危険から保護する.....	10-5	モアデッキの仕様..... 60-1
回転しているドライブラインに近づかない.....	10-6	
転倒の防止.....	10-6	整備のお問い合わせ
アタッチメントの安全な保管.....	10-6	整備マニュアル..... 65-1
		部品..... 65-1
組み立て		整備部品のオンライン注文..... 65-1
キットの部品.....	15-1	高品質な整備で John Deere 製品の高い品質を
必要な装置.....	15-1	維持..... 65-1
ホイールの取り付け.....	15-1	
ギヤボックスの取り付け.....	15-2	
排出シュートの取り付け.....	15-4	
フロントドラフトリンクの取り付け.....	15-4	
取り付け		
モア取り付け.....	25-1	
駆動軸の接続.....	25-4	
調整		
機械の準備.....	30-1	
モアレベルの調整 (側方).....	30-1	
モアレベルの調整 (フロント / リア).....	30-2	
デッキ高さの調整.....	30-4	
モアホイールの調整.....	30-5	
操作		
モアの上昇・下降.....	40-1	
モアの接続.....	40-2	
モアの詰まりの除去.....	40-2	
機械に載せたモアの輸送.....	40-2	

本文書は翻訳版です。このマニュアルに掲載の全ての情報、画像、仕様は、発行時の情報に基づいています。予告なしに変更されることがあります。

COPYRIGHT © 2015
DEERE & COMPANY
Moline, Illinois
All rights reserved.
A John Deere ILLUSTRATION™ Manual

製品識別

製品の互換性

54D / 60D AutoConnect™ モアは、次のコンパクトユーティリティトラクターモデルで使用するよう設計されています：1 ファミリコンパクトユーティリティトラクター

モアを操作する前に、次の装置を機械に取り付ける必要があります。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

- ミッド PTO キット (機械式または油圧式)
- モアリフトキット (標準型または AutoConnect™)

UP00731,0000366-40-21JUL15-1/1

識別番号の記録

AutoConnect™ モア

54D シリアル番号 (030001～)

60D シリアル番号 (030001～)

整備に関する情報を認定サービスセンターに問い合わせる必要がある場合は、必ず製品のモデルとシリアル番号を用意してください。

モアデッキのモデルおよびシリアル番号を確認し、情報を以下の空欄に記録してください。

購入日：

販売店名：

販売店の電話番号：

製品シリアル番号：

UP00731,0000367-40-06AUG15-1/1

安全ラベル

安全標示ラベルの交換

安全標示ラベルが足りない場合は補充し、状態の悪いラベルは交換してください。適切な安全標示ラベルの位置については、このオペレータマニュアルを参照してください。

販売業者から供給される部品については、このオペレータマニュアルに転記されていない追加の安全情報が存在する可能性があります。



TS201—UN—15APR13

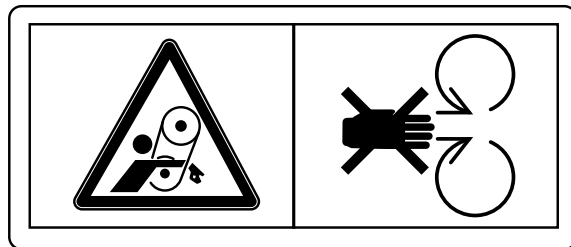
DX,SIGNS-40-27NOV12-1/1

安全ラベル

警告

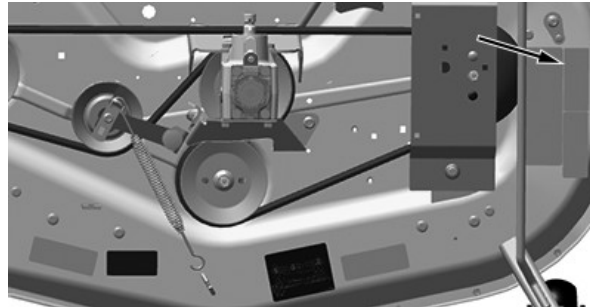
危険：回転ベルト

- 回転ベルトから離れてください。
- シールドを所定の位置に取り付けずにモアを運転しないでください。



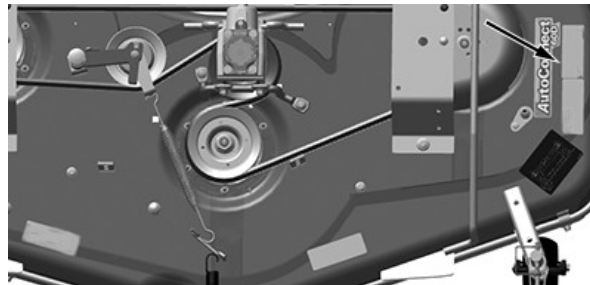
LV18939—UN—28AUG13

安全ラベル - M136436



LV24037—UN—05AUG15

54D デッキの M136436



LV24041—UN—05AUG15

60D デッキの M136436

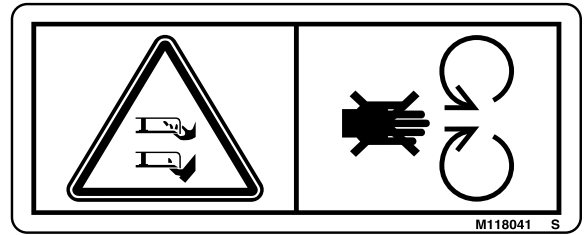
次のページへ

UP00731,000038F-40-05AUG15-1/4

警告

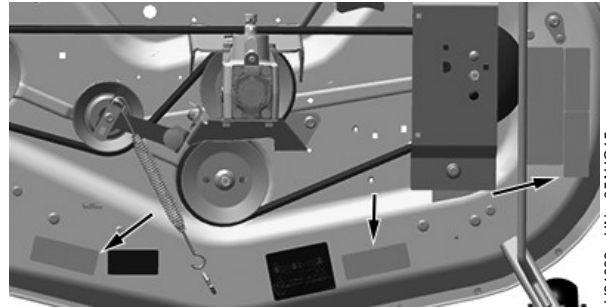
危険：回転している刃

- エンジン運転中、モアの下または中に手足を入れないでください。



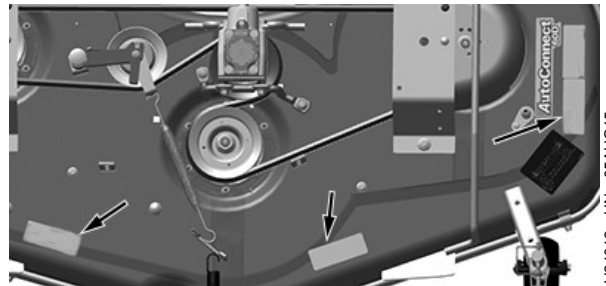
LV18940—UN—28AUG13

安全ラベル - M118041



LV24038—UN—05AUG15

54D デッキの M118041



LV24042—UN—05AUG15

60D デッキの M118041

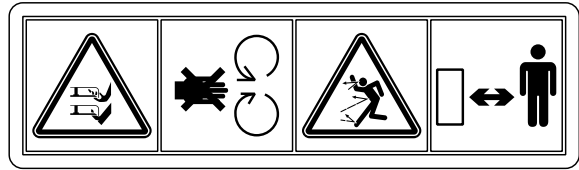
次のページへ

UP00731,000038F-40-05AUG15-2/4

警告

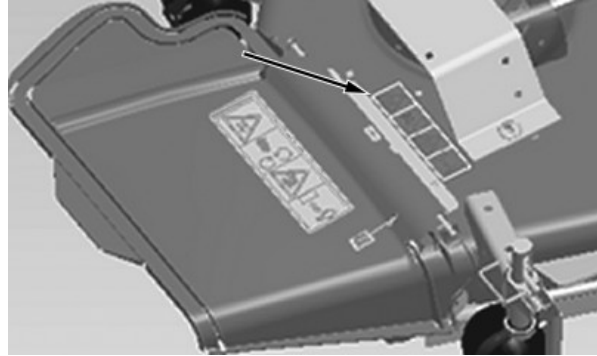
注意：回転している刃で飛ばされた物体や接触によるけがを防止してください。

- エンジン運転中、モアの下または中に手足を入れないでください。
- 子供やその他の人が周囲にいる場合、排出シュートなしまたはグラスキャッチャ全体を取り付けていない場合は、モアを運転しないでください。
- 刈り取りを行う前に、刃で飛ばされる可能性のある物体を除去します。
- エンジン運転中は、トラクターの周囲に子供や他の人がいないことを確認してください。
- 刃を外してある場合でも、絶対に子供を同乗させないでください。



LV18937—UN—28AUG13

安全ラベル - M138631



LV24035—UN—05AUG15

54D デッキの M138631



LV24039—UN—05AUG15

60D デッキの M138631

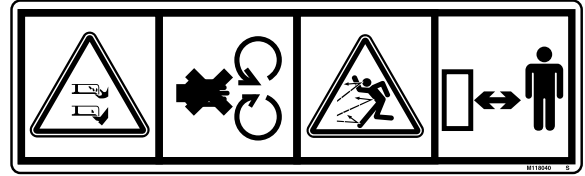
次のページへ

UP00731,000038F-40-05AUG15-3/4

警告

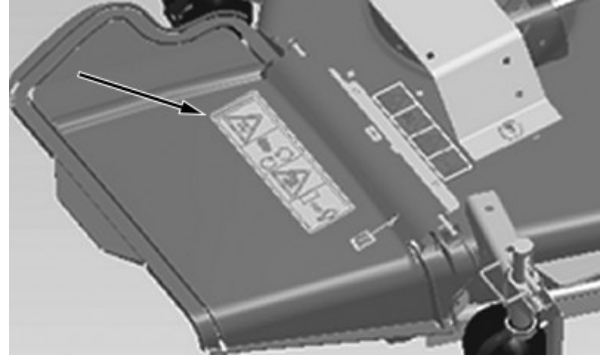
注意：回転している刃で飛ばされた物体や接触によるけがを防止してください。

- エンジン運転中、モアの下または中に手足を入れないでください。
- 子供やその他の人が周囲にいる場合、排出シュートなしまたはグラスキャッチャ全体を取り付けていない場合は、モアを運転しないでください。
- 刈り取り作業を行う前に、刃で飛ばされる可能性のある物体を除去します。
- エンジン運転中は、トラクターの周囲に子供や他の人がいないことを確認してください。
- 刃を外してある場合でも、絶対に子供を同乗させないでください。



LV18938—UN—28AUG13

安全ラベル - M118040



LV24036—UN—05AUG15

54D デッキの M118040



LV24040—UN—05AUG15

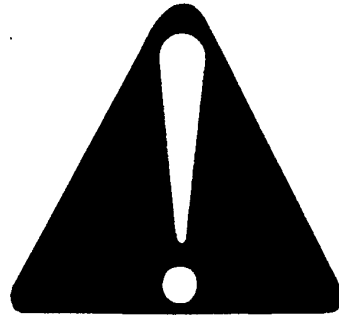
UP00731,000038F-40-05AUG15-4/4

安全

安全情報の確認

これは安全警告マークです。機械上、またはマニュアル内にこのマークのある場所では、けがをしないように注意してください。

推奨されている注意事項と安全操作の慣行に従ってください。



T81389—UN—2&JUN13

DX,ALERT-40-29SEP98-1/1

シグナルワードについて

危険：シグナルワード「危険」は、回避しなかった場合、人が死亡または重傷を負う危険な状況を示しています。

警告：シグナルワード「警告」は、回避しなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険な状況を示しています。

注意：シグナルワード「注意」は、回避しなかった場合、人が軽度または中程度の傷害を負う可能性がある危険な状況を示しています。「注意」は、人が傷害を負う可能性がある事象に関連する危険な行為を警戒するためにも使用される場合があります。

シグナルワード「危険」、「警告」、「注意」は安全警告マークと共に使用されます。「危険」は最も重大な危険要素を示します。「危険」または「警告」安全標示ラベルは、特定の危険要素の近くにあり、一般注意事項は



TS187—40—20JUN12

「注意」安全標示ラベルに記載されています。「注意」はこのマニュアルに記載されている安全上の注意事項への注意も促しています。

DX,SIGNAL-40-05OCT16-1/1

安全上の注意事項の順守

機械上の安全標示ラベルと当マニュアルに記載されているすべての安全上の注意事項を注意深く読んでください。安全標示ラベルを良好な状態に保ってください。安全標示ラベルが足りない場合は補充し、状態の悪いラベルは交換してください。新しい装置部品や修理部品に、最新の安全標示ラベルが付けられているか確認してください。交換用の安全標示ラベルは担当の John Deere 取扱店から入手できます。

販売業者から供給される部品については、このオペレータマニュアルに転記されていない追加の安全情報が存在する可能性があります。

適切な機械の操作方法とコントロールの使用法を習得してください。説明なしで他の人に操作させないでください。

機械を適切な作動状態に保ってください。許可なく機械



TS201—UN—1&APR13

を改造すると、機能や安全性を損なう可能性があり、機械寿命に影響を及ぼすことがあります。

このマニュアルに不明な点があり、サポートが必要な場合は、John Deere 取扱店までご連絡ください。

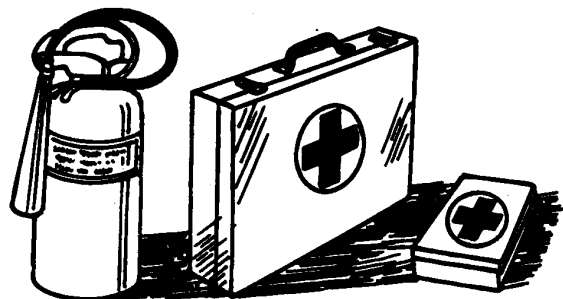
DX,READ-40-16JUN09-1/1

緊急事態に対する準備

火災に備えてください。

救急箱と消火器を手近に置いてください。

医師、救急車サービス、病院、消防署の緊急番号を電話の近くに備えてください。



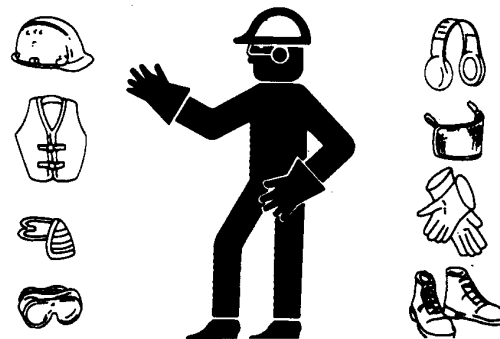
TS291—UN—15APR13

DX,FIRE2-40-03MAR93-1/1

保護服の着用

ぴったりした衣類と作業に適した安全具を着用してください。

機械の安全な操作のために、オペレーターは細心の注意を払う必要があります。機械の操作中にラジオや音楽用ヘッドフォンを着用しないでください。



TS206—UN—15APR13

DX,WEAR2-40-03MAR93-1/1

騒音対策

機械構成、機械の状態とメンテナンスレベル、地面、操作環境、デューティサイクル、環境騒音、およびアタッチメントなど、騒音レベル範囲に影響を与えるさまざまな変動要素があります。

大きな騒音への暴露は、聴力の障害や損失を引き起こす可能性があります。

必ず聴覚保護具を着用してください。好ましくない不快な騒音から保護するため、耳あてや耳栓などの適切な聴覚保護具を着用してください。



TS207—UN—23AUG88

DX,NOISE-40-03OCT17-1/1

トレーニング

- 説明をよくお読みください。機械のコントロール類と正しい使い方を習得してください。
- 絶対に子供や説明に習熟していない人に芝用モアの使用を許可しないでください。国の規則によりオペレータの年齢が制限されている場合があります。

- 特に子供などの人やペットが近くにいる場合は、絶対に芝刈りを行わないでください。
- 他の人やその所有物への事故または危険に対しては、オペレータあるいは使用者が責任を負うことを念頭に置いてください。
- 他の人を同乗させないでください。

AP43109,0000288-40-16APR13-1/1

準備

- 芝刈り中は、必ず厚手の靴と長ズボンを着用してください。裸足やサンダル履きで装置を操作しないでください。
- 機器を使用する場所を十分に点検し、機械により弾き飛ばされる可能性のある物体はすべて取り除いてください。
- 使用前に、必ずブレード、ブレードボルト、カッター

アセンブリが摩耗または損傷していないことを目視点検してください。摩耗または損傷したブレードおよびボルトは、バランスを保つためにセットで交換してください。

- マルチブレードの機械の場合は、1つのブレードが回転することにより他のブレードも回転するので注意してください。

AP43109,0000289-40-15APR13-1/1

作業

- 危険な一酸化炭素が溜りやすい狭い空間でエンジンを動作させないでください。
- 刈り作業は、日中または十分な照明の下でのみ行ってください。
- エンジンを始動させる前に、すべてのブレード付属装置のクラッチ接続を外してニュートラルに切り替えてください。
- 傾斜地には常に危険が伴う点に留意してください。芝の生えた傾斜地の走行では、特に注意する必要があります。横転しないよう、以下に従ってください。
 - ： 傾斜面を横断して芝刈りを行わないでください (機械がその目的のために設計されている場合を除く)。
- 芝以外の地面を横切の場合は事前にブレードの回転を止めてください。
- 絶対に刈り取った物を周辺の人に向かって排出させないでください。また、作業中に機械の近くに人を近づけないでください。
- ガードに不良がある、あるいは安全装置が所定の位置に付いていない機械は絶対に操作しないでください。
- エンジンガバナーの設定を変更したり、エンジン回転数を上げすぎたりしないでください。過度の回転数でエンジンを運転すると、けがの危険性が高くなります。
- オペレータ位置から離れる前に：
 - ： アタッチメントの駆動装置を解除して、下降させます。
 - ： ニュートラルに変更してパーキングブレーキをかけます。
 - ： エンジンを停止し、キーを抜きます。
- アタッチメントの駆動装置を解除して、エンジンを停止し、スパークプラグワイヤの接続を外してイグニッションキーを抜きます。

- ： シュートの障害物を除去する前に
- ： 機械で点検、清掃、または作業を行う前に
- ： 異物に当たった後。装置の再始動および操作を行う前に、機械に損傷がないか点検し、修理します。
- ： 機械の異常振動が始まった場合 (すぐに点検してください)。

- 運搬時または非使用時には、付属装置の駆動装置を外してください。
- 以下の場合には、エンジンを停止させて付属装置への駆動装置を解除します。
 - ： 燃料を補充する前。
 - ： グラスキャッチャを取り外す前。
 - ： 高さ調整を行う前 (オペレータ位置から調整を行える場合を除く)。
- ランアウト中はスロットル設定を減らします。エンジンにシャットオフバルブが装備されている場合は芝刈りの終わりに燃料をオフにします。
- 操作する前に機械を点検してください。損傷、摩耗、または損失した部品を修理あるいは交換してください。運転する前に必要な調整を行ってください。
- 排出シュートなしで、またはグラスキャッチャ全体を取り付けずに芝刈り作業を行わないでください。グラスキャッチャを使用している場合を除き、絶対に排出デフレクタを上昇させて、取り外して、または変更して操作しないでください。
- 作業エリアに人が入ってきた場合は機械を停止してください。
- 機械のメーカーが認可しているアクセサリとアタッチメントのみを使用してください。アクセサリやアタッチメントを取り付ける際は、安全ラベルが見えるように取り付けてください。
- ブレードの作動中は、絶対にモアのデッキを上げないでください。

AP43109,000028A-40-18APR13-1/1

メンテナンスと保管

- すべてのナット、ボルト、ねじを締めて、装置が安全に機能する状態であることを確認してください。
- タンクに燃料が残った装置を、蒸発ガスが裸火や火花に達する可能性がある建物内に保管しないでください。
- 囲いの中に保管する前にエンジンが冷めるのを待ってください。
- 火災の危険を減らすために、エンジン、マフラー、バッテリーコンパートメント、燃料保管場所に草、葉、余分なグリースを近づけないでください。
- グラスキャッチャに摩耗や劣化がないか頻繁に点検してください。
- 安全のため、摩耗または損傷した部品は交換してください。
- 燃料タンクを抜き取る必要がある場合は、屋外で行ってください。
- マルチブレードの機械では、1つのブレードが回転すると、他のブレードも回転する可能性があることに注意してください。
- 機械を駐車または保管したり、機械から人が離れるときは、切断装置を下げてください(確実な機械式ロックが使用されている場合を除く)。
- 必要な場合は、ジャッキスタンドを使用するか、整備用のラッチをロックして部品を支持してください。整備

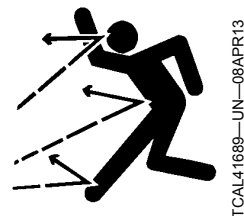
備作業で持ち上げる必要のある機械部品はしっかりと支持してください。

- 機械またはアタッチメントを整備する前に、油圧部品やスプリングなど、エネルギーが残っている部品から圧力を慎重に解放してください。
- アタッチメントまたはカuttingユニットを地面または機械的ストッパーまで下ろし、油圧制御レバーを前後に動かして油圧を解放してください。
- 修理を行う前に、バッテリーの接続を外すか、スパークプラグ(ガソリンエンジンの場合)を取り外してください。最初にマイナス端子、次にプラス端子の順に接続を外してください。接続する場合は、最初にプラス端子、次にマイナス端子の順に接続してください。
- ブレードを点検するときは十分注意してください。ブレードを整備するときは、ブレードを覆うか、手袋を着用し、十分注意してください。ブレードのみを交換してください。絶対にブレードをまっすぐにしたり、溶接したりしないでください。
- 可動部品に手、脚、着衣、装飾品、長い髪を近づけないでください。可能な場合は、エンジンを運転して調整を行わないでください。
- 十分に換気され、開放された場所で、火花や炎から離れてバッテリーを充電してください。バッテリーに充電器を接続したり、切断したりする前に充電器をコンセントから抜いてください。保護服を着用し、絶縁した工具を使用してください。

AP43109,000028B-40-15APR13-1/1

芝刈りエリアの確認

- 引き倒される可能性がある物を芝刈りエリアから除去します。芝刈りエリアへの人やペットの立入りを禁止します。
- 低く垂れ下がっている枝や同様の障害物でオペレータがけがをしたり、芝刈り作業が中断する可能性があります。芝刈りの前に、低く垂れ下がっている枝など、可能性のある障害物を確認し、これらの障害物を刈り込むか、取り除きます。
- 芝刈りエリアを調査してください。安全な芝刈りパターンを設定してください。タイヤと路面間で生じる駆動力や安定性が疑われる場所では、芝刈りを行わないでください。



TCAL41689—UN—08APR13

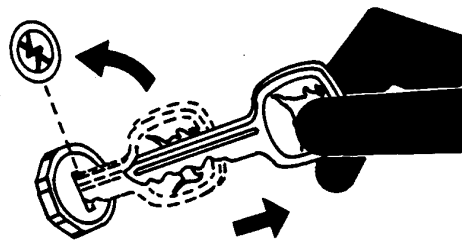
- 芝刈り機を下げ(ただし、動かさないで)、作業エリアのテスト走行を行ってください。でこぼこの地面の上を走行するときは、速度を落としてください。

AP43109,000028C-40-15APR13-1/1

機械の安全な駐車

機械で作業をする前に

- すべての装置を地面に降ろします。
- エンジンを停止し、キーを抜いてください。
- バッテリーのアースケーブルの接続を外してください。
- オペレータステーションに「DO NOT OPERATE」(運転禁止) タグを掛けてください。



TS230—UN—24MAY89

DX,PARK-40-04JUN90-1/1

回転中のブレードは危険です。

TCAL43410—UN—15MAR13

重傷事故や死亡事故を回避するために、次の点に注意してください。



- 回転しているブレードにより、腕や脚を切ったり、物が飛ばされる可能性があります。安全上の注意事項に従わない場合、重傷事故や死亡事故が発生する可能性があります。
- エンジン運転中は、モアデッキに手、脚、服を近づけないでください。
- 前進および後退とも、常に細心の注意を払ってください。オペレータが気づく前に、人、特に子供などが芝刈りエリアに急に近づくことがあります。
- 後退する前に、モアブレードやアタッチメントを停止し、機械の下側や後ろに特に子供がいないか慎重に確認してください。

- 後退しながら芝刈りを行わないでください。
- 刈り作業をしていないときは、ブレードを停止します。
- グラスキャッチャを空にする場合やシュートの詰まりを直す場合も含めて、何かの理由で運転席を離れる時は、必ず機械を安全に駐車してください。

UP00731,000009E-40-04SEP13-1/1

後退時の事故の回避

作業機を動かす前に、作業機の進路に人がいないことを確認してください。振り向いて、直接最良の視界を得るようにしてください。後退時に視界が遮られている場合、または狭い場所では合図を出してくれる人を配置してください。

作業機の後ろに人や障害物が存在するかどうかを確認する場合は、カメラだけに頼らないでください。システムはメンテナンス、環境条件、動作範囲など、多くの要因によって制限される可能性があります。

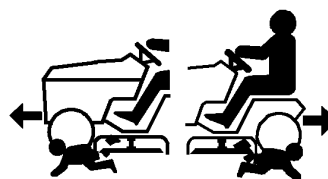


PC10857XW—UN—15APR13

DX,AVOID,BACKOVER,ACCIDENTS-40-30AUG10-1/1

子供を危険から保護する

- 小さな子供は以前だれかに機械に乗せてもらったことがあるため、子供が刈り取り機を遊びと結び付けると、死亡事故や重傷事故が発生する可能性があります。
- 子供はローンモア機と刈り取り作業に魅了されます。子供は回転刃の危険性やオペレータが子供の存在に気付かないことがわかっていません。
- 過去に乗車経験がある子供がもう一度乗りたいと刈り取りエリアに急に現れて、機械に轢き殺される可能性があります。
- 特に、子供が機械の後ろから近づくときなど、オペレータが子供を見落とした場合に子供の重大な事故が発生することがあります。後退する前、および後退中は、モアの刃を停止し、特に子供に注意して機械の下方と後方をよく確認して下さい。
- 刃が停止している場合でも、絶対に機械やアタッチメントに子供を乗せて運ばないでください。また、カートやトレーラーに子供を乗せて牽引したりしないでください。落ちて重傷を負ったり、機械の安全な操作を妨げたりすることがあります。
- 絶対にRVとして、または子供を楽しませるために機械を使用しないでください。



MXAL41929—UN—18FEB13

- 絶対に子供や訓練を受けていない人に機械の運転を許可しないでください。本機や装置に子供を乗せないよう、オペレータ全員に指示して下さい。
- モアの操作中は、子供を屋内に入れて芝刈りエリアに近づけないようにし、オペレータ以外の責任ある大人の監視下においてください。
- 子供の存在に常に注意してください。子供が同じ場所にじっとしているだろうとは絶対に考えないでください。子供が作業エリアに入った場合は機械を停止してください。
- 見通しの悪い曲がり角、植木の茂み、樹木、その他子供を視界から遮る物体の近くを走行する場合は十分注意して下さい。

OUO1023,0000037-40-21FEB13-1/1

回転しているドライブラインに近づかない

回転しているドライブラインに巻き込まれると、深刻な人身事故を引き起こす可能性があります。

- ぴったりした衣類を着用してください。
- PTO に近づく前に、エンジンを停止し、PTO ドライブラインが停止したことを確認してください。

UP00731,000009A-40-04SEP13-1/1

転倒の防止

TCAL47141—UN—12APR13



- 傾斜地は、重大なけがまたは死亡を招く可能性がある制御不能や転倒事故に関連する重要な要因です。傾斜地で操作する際は、いかなる場合でも厳重な注意が必要となります。
- 機械式前輪駆動 (MFWD) は危険な傾斜地へのアクセスを改善しますが、転倒の可能性が高くなることに注意してください。
- 坂を横切らないで登坂・降坂運転してください。
- 穴、わだち、隆起、石や岩、その他の隠れた物体などに注意してください。不均等な地形では機械が転倒するおそれがあります。背の高い草により障害物が隠れる可能性があります。
- 湿った草の上で芝刈りや機械の運転を行わないでください。タイヤがトラクションを失う可能性があります。ブレーキが適切に機能している場合でも、傾斜地ではタイヤがトラクションを失うことがあります。
- 傾斜地で停車またはシフトする必要があるように低い対地速度を選択してください。
- 傾斜地を下るときは、常に機械のギアを入れてください。下り坂でギアをニュートラルに入れて惰走しないでください。
- 傾斜面では、発進、停車、または旋回を避けます。タイヤのトラクションがなくなった場合は、ブレードの

接続を解除し、斜面をゆっくり真直ぐに降りてください。

- 傾斜面ではすべての動きをゆっくりと徐々に行います。急に速度や方向を変えないでください。機械が横転する可能性があります。
- 断崖、溝、堤防や他の水域付近では機械を運転しないでください。車輪が縁の部分にかかった場合、または縁に落ち込んだ場合には、機械が急に転倒することがあります。機械と危険な場所との間には、安全な距離をあけてください。
- 狭いトレッド設定で高速で運転すると、転倒の危険性が非常に高くなります。
- 傾斜地で運転する場合、またはフロント / リア取り付けのアタッチメントを使用する場合は、安定性を高めるためにホイールウェイトやカウンターウェイトに関するメーカーの推奨事項に従ってください。必要がない場合はウェイトを取り外してください。

UP00731,000009B-40-04SEP13-1/1

アタッチメントの安全な保管

保管しているダブルタイヤホイール、かご車輪、ローダーなどのアタッチメントは倒れたり、死傷事故の原因となる危険性があります。

アタッチメントおよびインプルメントが倒れないようにしっかり固定して保管してください。子供や人を保管場所に近づけないでください。



TS219—UN—23AUG88

DX,STORE-40-03MAR93-1/1

組み立て

キットの部品

54D モアデッキ		60D モアデッキ	
数量	説明	数量	説明
1	54D モアデッキアセンブリ	1	60D モアデッキアセンブリ
4	ゲージホイール	4	ゲージホイール
4	スプリングピン	4	スプリングピン
1	ギヤボックスアセンブリ	1	ギヤボックスアセンブリ
4	ボルト、M10x25	4	ボルト、M10x25
1	排出シュートアセンブリ	1	排出シュートアセンブリ
2	ボルト、根角、M8x16	1	ロッド、シュートピボット
2	ロックナット、M8	1	スプリング、シュートテンション
1	フロントドラフトリンクアセンブリ	2	ボルト、M8x20
1	スプリング、ドラフトリンク	2	ブラケット
		2	リテーナ
		2	ロックナット、M8
		1	ロールピン
		1	フロントドラフトリンクアセンブリ
		1	スプリング、ドラフトリンク

UP00731,0000368-40-06AUG15-1/1

必要な装置

モアを取り付ける前に、次の装置を機械に取り付ける必要があります。注文情報については、John Deere™ 販売店にお問い合わせください。

- モアリフトキット (機械式または油圧式)

- モア駆動軸 (標準型または AutoConnect™)

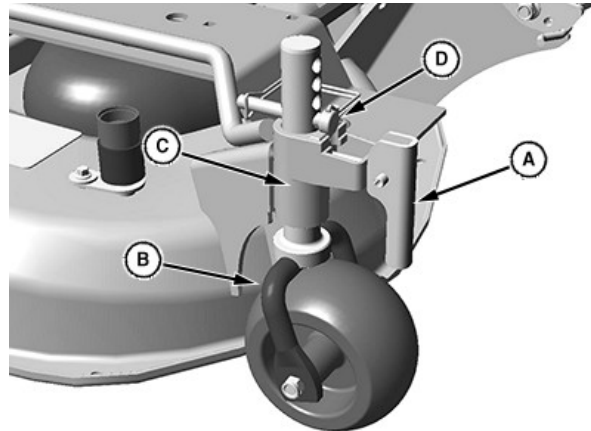


注意： 機械の部品やアタッチメントは重量があります。コンポーネントやアタッチメントの吊上げ、取り付けまたは取り外しには、正しい耐荷重定格の安全な吊上げ装置を使ってください。

UP00731,0000369-40-06AUG15-1/1

ホイールの取り付け

- チェーンホイストまたはその他の適切な装置を使用して、梱包からモアを取り出します。
- ホイールシャフトを上にスライドさせてホイールブラケット (B) に通してホイール (A) を取り付けます。
- ハンドル (C) を押し下げてホイールをロックします。モアをトラクターに取り付ける前にホイールはロック解除位置にある必要があります。
- スプリングピン (D) を各ホイールシャフトに取り付けます。



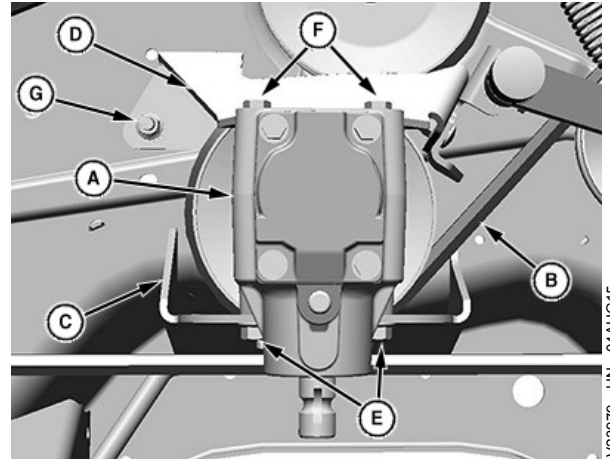
LV23978—UN—04AUG15

UP00731,000036A-40-06AUG15-1/1

ギヤボックスの取り付け

ギヤボックスの取り付け (54D)

1. 図に示すように、ベルト (B) をギヤボックスプーリーの周りとギヤボックスブラケット (C、D) の間に取り回しながら、ギヤボックスアセンブリ (A) をモアに下ろします。ベルトを取り回すためにブラケット (D) をモアから取り外す必要がある場合があります。
2. ボルト 2 本 M10x25 (E) をフロントブラケット (C) に通してギヤボックスに緩く取り付けます。
3. ボルト 2 本 M10x25 (F) を後部ブラケット (D) に通してギヤケースに緩く取り付けます。
4. ギヤボックス取り付けボルト 4 本 M10 (E、F) を 73 N・m (54 lb.-ft.) のトルクで締め付けます。
5. 後部ギヤボックス取り付けブラケットのナット 2 個 (G) を 73 N・m (54 lb.-ft.) のトルクで締め付けます。

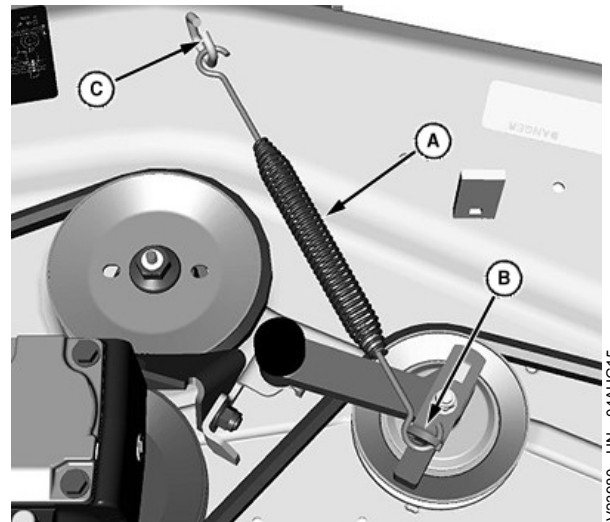


ギヤボックス 54D
A : ギヤケースアセンブリ
B : ベルト
C : ブラケット
D : ブラケット
E : ボルト (M10X25)
F : ボルト (M10X25)
G : ナット

UP00731,000036B-40-06AUG15-1/4

6. スプリング (A) をテンショナーム (B) とモアのブラケット (C) に取り付けます。
7. すべてのプーリーを点検してベルトが正しく整列していることを確認します。

A : スプリング
B : テンショナーム
C : ブラケット



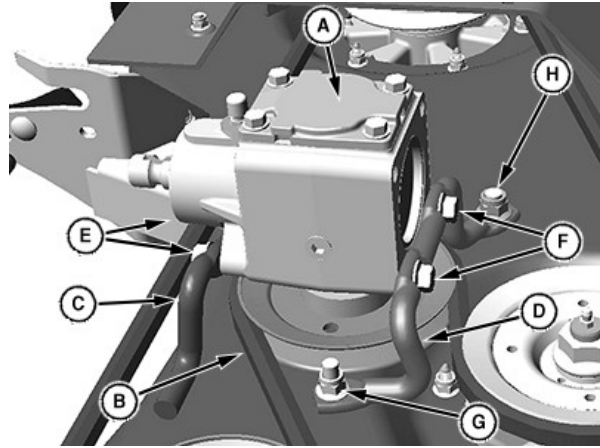
ギヤボックス 54D

次のページへ

UP00731,000036B-40-06AUG15-2/4

ギヤボックスの取り付け 60D

1. 図に示すように、ベルト (B) をギヤボックスプーリーの周り、ギヤボックスブラケット (C、D) の間に取り回しながら、ギヤボックスアセンブリ (A) をモアに下ろします。
2. ボルト 2 本 M10x25 (E) をフロントブラケット (C) に通してギヤボックスに緩く取り付けます。
3. M10x25 ボルト 2 本 (F) を後部ブラケット (D) に通してギヤボックスに緩く取り付けます。
4. M10 ギヤボックス取り付けボルト 4 本 (E、F) を 73 N・m (54 lb・ft.) のトルクで締め付けます。
5. 後部ギヤボックス取り付けブラケットのナット 2 個を締め付けます。
 - a. M10 ナット 1 個 (G) を 73 N・m (54 lb・ft.) のトルクで締め付けます。
 - b. M12 ナット 1 個 (H) をナットを 119 N・m (88 lb・ft.) のトルクで締め付けます。



A : ギヤケースアセンブリ
B : ベルト
C : ブラケット
D : ブラケット

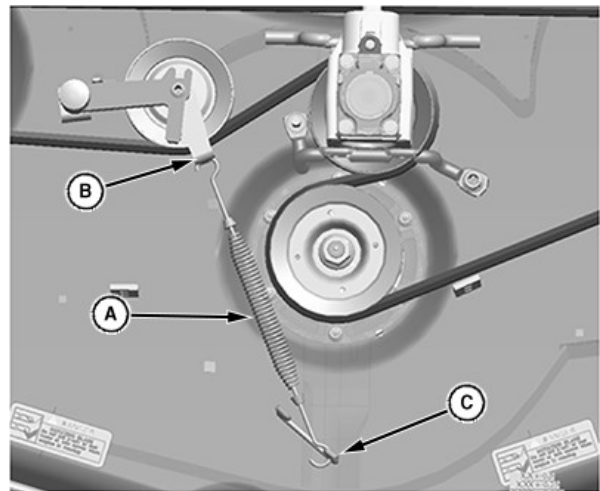
E : ボルト (M10x25)
F : ボルト (M10x25)
G : ナット (M10)
H : ナット (M12)

UP00731,000036B-40-06AUG15-3/4

6. スプリング (A) をテンショナーアーム (B) とモアのブラケット (C) に取り付けます。
7. すべてのプーリーを点検してベルトが正しく整列していることを確認します。

A : スプリング
B : テンショナーアーム

C : ブラケット



UP00731,000036B-40-06AUG15-4/4

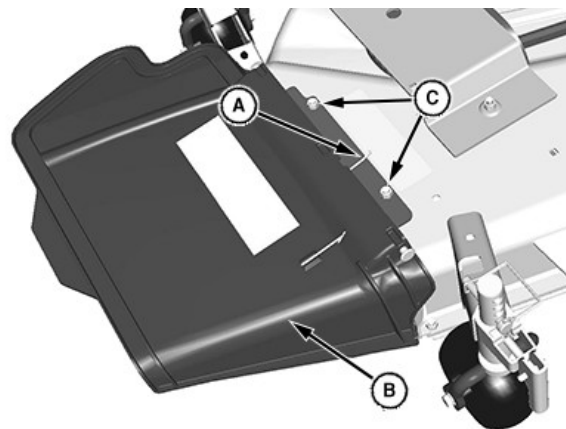
排出シュートの取り付け

排出シュートの取り付け (54D)

1. スプリング (A) の配置が正しいことを確認します。
2. 排出シュートアセンブリ (B) をモアに位置決めして、M8x16 根角ボルト 2 本と M8 ロックナット 2 個 (C) で固定します。

A : スプリング
B : シュートアセンブリ

C : ロックナット (M8)



排出シュート (54D)

UP00731,000036C-40-28JUL15-1/2

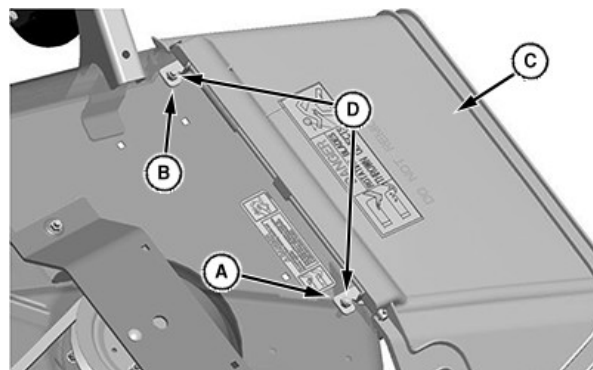
LV23983-UN-04AUG15

排出シュートの取り付け (60D)

1. リアヒンジ (A) とナットをデッキに取り付けます。締め付けしないでください。
2. 片手でスプリングに力を加えながらフロントヒンジ (B) とナットをデッキに取り付けます。締め付けしないでください。
3. ヒンジが整列しやすいように、ナット (D) を締め付けるときに排出シュートアセンブリ (C) をデッキから引き離します。

A : リアヒンジ
B : フロントヒンジ

C : シュートアセンブリ
D : ナット



排出シュート (60D)

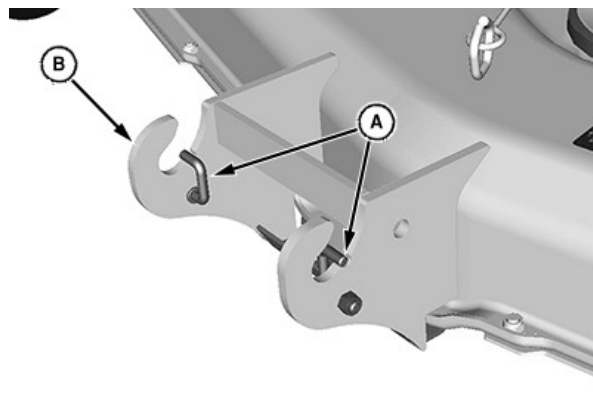
UP00731,000036C-40-28JUL15-1/2

LV23984-UN-04AUG15

フロントドラフトリンクの取り付け

1. フロントドラフトリンクブラケットの両側からナットとクイックロックピン (A) を取り外します。

A : ロックピン



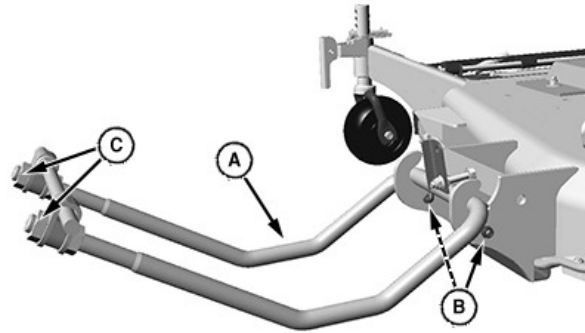
次のページへ

UP00731,000036D-40-06AUG15-1/4

LV23985-UN-04AUG15

2. ドラフトリンクアセンブリ (A) をブラケットに取り付けて、ロックピン 2 個とナット (B) で固定します。
3. ドラフトリンクアセンブリのフロントナット (C) を 4 ~ 5 回転させて緩めます (モアを初めて機械に取り付ける場合はナットを締め付けます)。

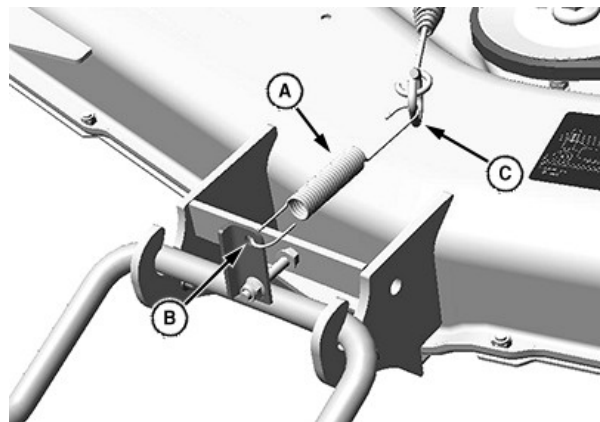
A : ドラフトリンクアセンブリ C : フロントナット
B : ナット



UP00731,000036D-40-06AUG15-2/4

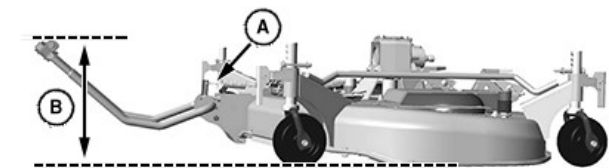
4. スプリング (A) をドラフトリンクブラケット (B) の穴とモアのリング (C) に通して取り付けます。

A : スプリング C : モアのリング
B : ブラケット



UP00731,000036D-40-06AUG15-3/4

5. 初期調整 - ゲージホイールをロック解除し、モアを水平な面上にしっかりと置いて、ボルトの長さ (A) を調整して、ドラフトリンクのフロントピンの中心から水平な面までの高さを 290 mm (11.4 in.) に設定します。ローダーも取り付けられている場合は、パーキングスタンドから離すために少し下げることがあります。運転中はフロントドラフトを常に押し下げる必要があります。そうでない場合、フロントドラフトの損傷が発生します。ボルトのロックナットをしっかりと締め付けます。



A : ボルト

B : 高さ 290 mm (11.4 in.)

UP00731,000036D-40-06AUG15-4/4

取り付け

モアの取り付け

注記：

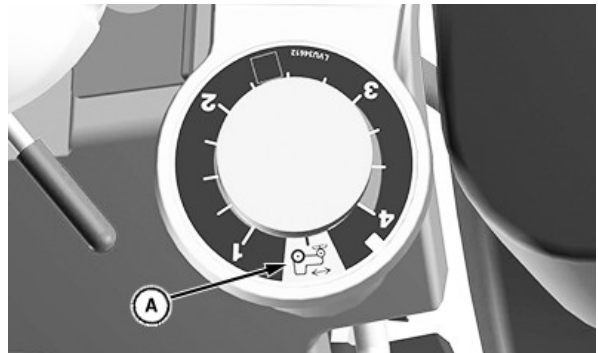
- 作業機、アタッチメント、ウエイトは、モアデッキのセットアップに影響します。初期セットアップの場合は、すべての作業機、アタッチメント、およびウエイトを取り外してください。作業機、アタッチメント、またはウエイトをモアデッキに取り付けた後、再点検してモアデッキが水平であることを確認してください。デッキが水平ではない場合は、デッキを再度水平にしてください。
- デッキのセットアップ中は、ロックシャフトリンケージを調整しないでください。デッキのセットアップ中にロックシャフトリンケージを調整した場合は、デッキを再度水平にしてください。

1. モア高さコントロールを **INSTALL** (取り付け) 位置 (A) に設定します。

A : 取り付け位置



LV29618—UN—20DEC17



LV29888—UN—14FEB18

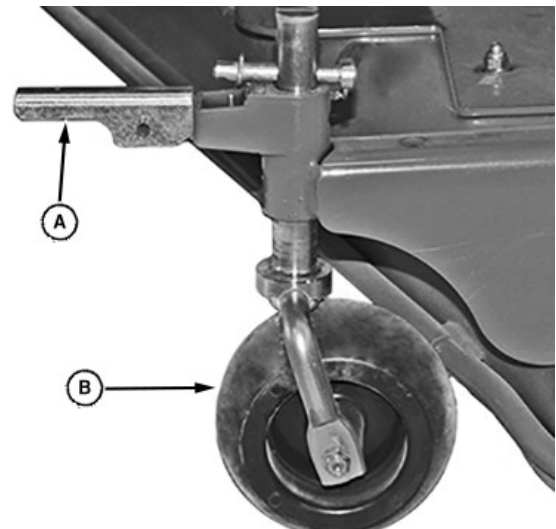
コントロールラベルに表示されている番号は、インチを表していません。これらは参考としてください。

UP00731,0000522-40-15AUG18-1/9

2. ハンドル (A) を上げて、各ゲージホイール (B) のロックを解放します。モアが地面上に完全に降ります。
3. モアが水平な地面上にあることを確認します。滑らかな面では、トラクターでモアを地面に沿って押すことができます。リアタイヤが 20 PSI に充填されていることを確認してください。

A : ハンドル

B : ホイール



LV23990—UN—04AUG15

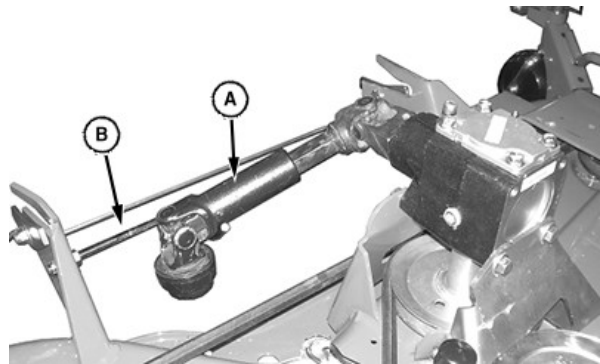
次のページへ

UP00731,0000522-40-15AUG18-2/9

4. 標準型駆動軸モデルのみ：駆動軸 (A) がモアの右側のハンガー (B) にあることを確認します。

A : 駆動軸

B : ハンガー



標準型駆動軸モデルのみ

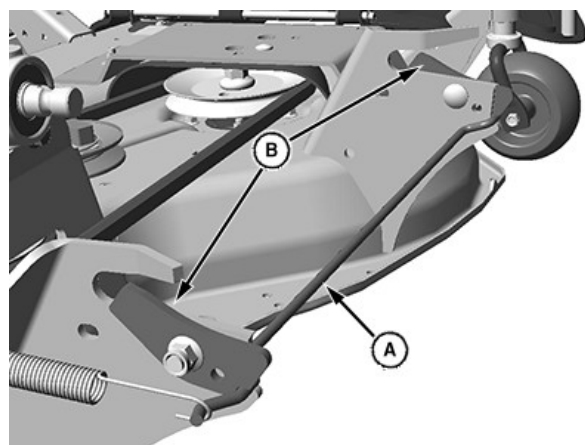
UP00731,0000522-40-15AUG18-3/9

LV23991—UN—04AUG15

5. 後部ロックアセンブリ (A) がロック位置 (B) にあることを確認します。機械がモアに接続されると、ロックアセンブリは自動的にロック解除され、完全接続後にロックされます。
6. SCV またはロックシャフトレバーコントロールを使用して、モアリフトアームを下降させます。
7. 機械の PTO セレクタをリア PTO のみにシフトして、ミッド PTO と駆動軸が自由に回転するようにし、最小限の抵抗でモアギヤケースを接続します。
8. トラクターの MFWD を接続してローレンジに入れます。
9. 機械をモアの後部に向けてまっすぐに運転します。

A : 後部ロックアセンブリ

B : ロック



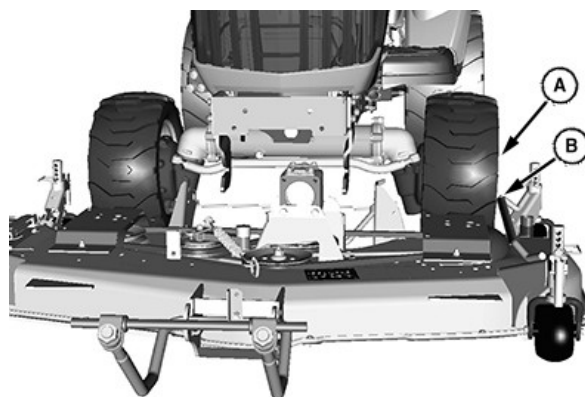
UP00731,0000522-40-15AUG18-4/9

LV23992—UN—04AUG15

10. 左前タイヤ (A) の外側を整列させて、モアの左側のガイドバー (B) に接触させます。

A : 左前タイヤ

B : ガイドバー



次のページへ

UP00731,0000522-40-15AUG18-5/9

LV23993—UN—04AUG15

11. トラクターをモアの乗入れ傾斜路 (A) の上にゆっくりとまっすぐに運転します。

A : 乗入れ傾斜路



LV23994—UN—04AUG15

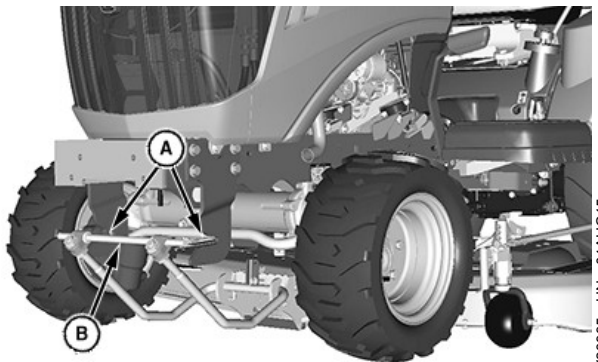
UP00731,0000522-40-15AUG18-6/9

12. ドラフトリンクのピボットピン (A) がフロントサポートハンガー (B) の切欠きに完全にかみ合うまで、トラクターをモアデッキの前端に運転し続けます。次に、モアが前方に動き始めます。機械を停止して駐車ブレーキをロックします。

- モアが早期に前方に引っ張られる場合、またはリフトシステムに捕捉されていることが確認された場合は、トラクターを停止し、少し後進させてもう一度前進させます。モアがまだ正しく取り付けられない場合は、トラクターを撤去して駐車ブレーキをロックし、トラクターから降りて問題の原因を特定します。詳しくは、トラブルシューティングセクションを参照してください。

A : ピボットピン

B : サポートハンガー



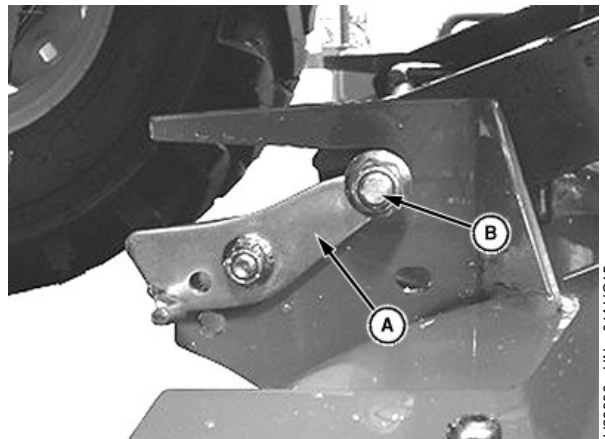
LV23995—UN—04AUG15

UP00731,0000522-40-15AUG18-7/9

13. トラクターを撤去して、モアの両側のリアロックタブ (A) が上がっていること、およびリフトアームロッド (B) にしっかりと密着していることを確認します。

A : ロックタブ

B : ロッド



LV23996—UN—04AUG15

次のページへ

UP00731,0000522-40-15AUG18-8/9

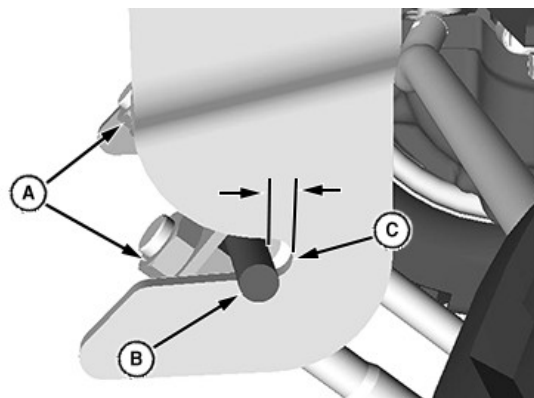
14. 初回取り付け - フロントドラフトリンクのナット (A) を調整して、ピボットピン (B) とフロントフレームフックのスロットの背面 (C) 間の隙間を 3 mm (.125 in) に設定します。

- 平らでない地面には大きい隙間が必要で、水平な地面には小さい隙間が必要です。隙間が大きすぎると、フロントからリアまでのデッキの水平度に影響があります。隙間が小さすぎると、ロックが正しく機能しません。

15. エンジンを始動し、モアを最高位置まで上昇させます。

16. 必要な刈取り高さに合わせてゲージホイールを調整します。

17. モア刈取り高さダイヤルを必要な高さに調整して、モアデッキを下ろしてエンジンを停止します。



A : フロントドラフトリンクのナット B : ピボットピン

UP00731,0000522-40-15AUG18-9/9

駆動軸の接続

駆動軸の接続 - AutoConnect™

機械に AutoConnect™ キットを装備している場合は、駆動軸を機械に取り付けます。これは、モアを機械に取り付けたときにモアギヤボックスと自動的に接続します。

- 機械の PTO セレクタをミッド PTO にシフトして、モアを操作できるようにします。

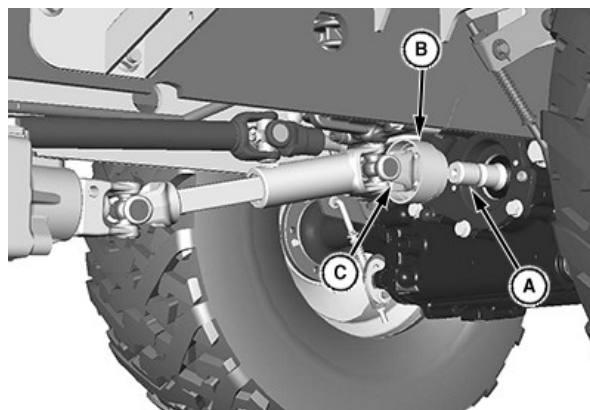
駆動軸の接続 - 標準型

機械が AutoConnect™ キットを装備していない場合は、標準型駆動軸をモアギヤボックスに取り付けます。この場合、機械のミッド PTO シャフトに直接接続する必要があります。

1. 標準型駆動軸を機械に接続するには、次の手順に従います：

UP00731,0000382-40-06AUG15-1/2

- 駆動軸をモアハンガーから持ち上げて、機械の PTO シャフト (A) を整列させて位置決めします。
 - 駆動軸カラー (B) を機械の前部に向けて引っ張ります。
 - リア駆動軸ヨーク (C) を PTO シャフトと整列させて、ヨークをシャフトに完全に押し込みます。シャフトをかみ合わせるために駆動軸を少し回転させる必要がある場合があります。
 - カラーを解放します。ヨークを前後にスライドさせて、ヨークロックが PTO シャフトのデントにしっかりと密着していることを確認します。
2. 機械の PTO セレクタをミッド PTO にシフトして、モアを操作できるようにします。



A : PTO シャフト
B : 駆動軸カラー

C : 駆動軸ヨーク

UP00731,0000382-40-06AUG15-2/2

調整

機械の準備

必要な装置：

- モアリフトキット
- モア駆動軸キット

機械のセットアップ：

1. 機械を安全に駐車します。

2. 機械の取扱説明書の指示に従ってタイヤ空気圧を点検します。
3. 取扱説明書の組み立て手順に従ってモアデッキを組み立てます。

UP00731,000036E-40-06AUG15-1/1

モアレベルの調整 (側方)

⚠ 注意： 回転しているブレードは危険です。モアの調整や整備の前に：

- エンジンが誤って始動しないように、スパークプラグの配線またはバッテリーのマイナス (-) ケーブルの接続を外してください。
- モアブレードを取り扱うとき、またはブレードの

周辺で作業するときは、必ず手袋を着用してください。

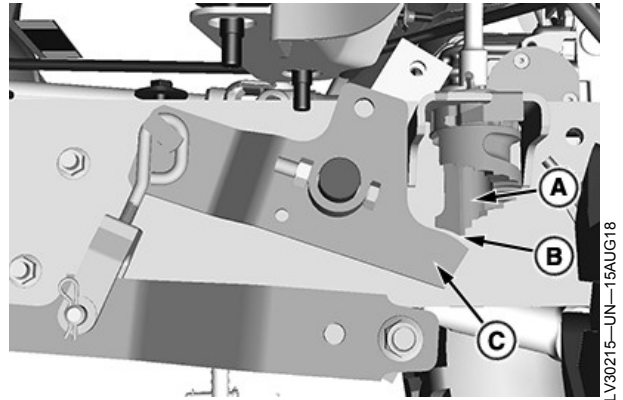
1. 機械を傾斜面ではなく水平な場所に駐車します。
2. 駐車ブレーキをロックします。
3. モアの刃の接続を解除します。

UP00731,0000372-40-15AUG18-1/5

4. モアデッキを上げます。刈取り高さカム (A) の 5 番目の段差 (B) がペルクランク (C) に向くまで刈取り高さコントロールダイヤルを回します。モアデッキをいっぱいまで下ろします。
5. エンジンを停止してキーを抜き、「操作禁止」タグを運転プラットフォームにかけてください。
6. 運転席を離れる前に、エンジンとすべての可動部が停止するのを待ちます。
7. バッテリーのマイナスケーブル (-) の接続を外します。

A : 刈取り高さカム
B : 5 番目の段差

C : ペルクランク

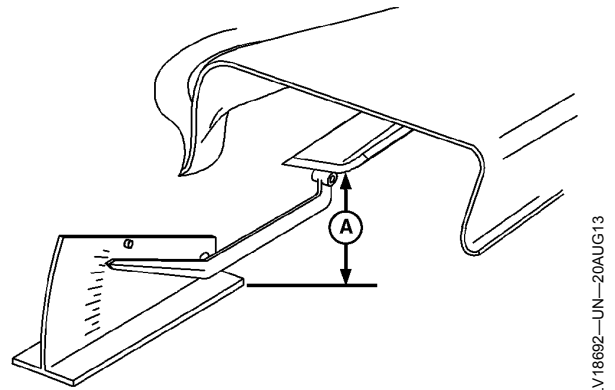


UP00731,0000372-40-15AUG18-2/5

注記： 水平調整中はモアのホイールを地面に接触させないでください。

8. 外側の刃の各先端から水平な面 (A) までを測定します。

A : 水平な面



レベルゲージの使用

次のページへ

UP00731,0000372-40-15AUG18-3/5

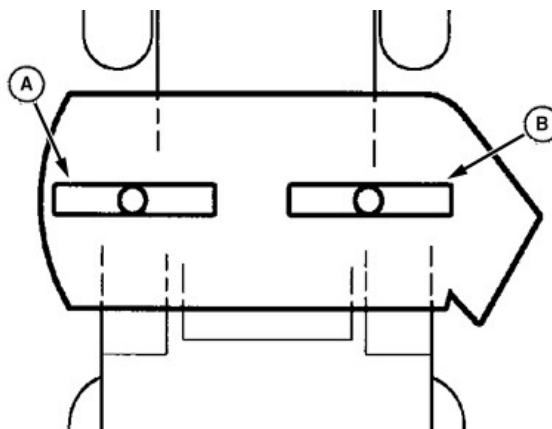
9. 図のように左の刃 (A) を回します。駆動ベルトを保持して、図のように右の刃 (B) を回します。両方の刃の先端から表面まで測定を行います。両方の測定値の差は仕様未満である必要があります。

仕様

側方：差..... 3~6 mm
0.125~0.236 in

A : 左の刃

B : 右の刃



LV24008—UN—04AUG15

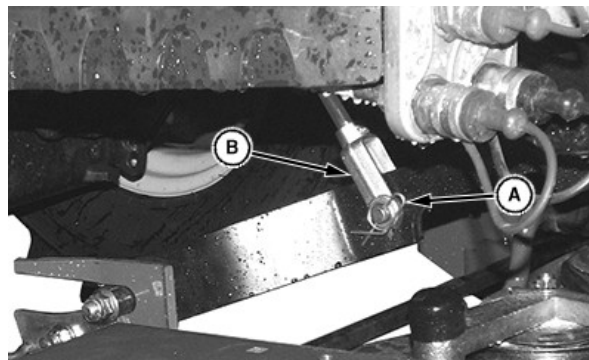
UP00731,0000372-40-15AUG18-4/5

10. 側方のレベルの調整：

- ロックピン (A) を左右のリアターンバックル (B) から取り外します。
- 必要に応じて一度に 1 つのターンバックルを調整して、刃のレベルを確認します。
 - ターンバックルを短くする - デッキ上昇
 - ターンバックルを長くする - デッキ下降
- 調整が完了したらロックピンを取り付けます。

A : ロックピン

B : ターンバックル



LV24009—UN—04AUG15

UP00731,0000372-40-15AUG18-5/5

モアレレベルの調整 (フロント / リア)

- 機械を平坦な場所に駐車します。

- 駐車ブレーキをロックします。

- モアの刃の接続を解除します。

UP00731,00005B1-40-15AUG18-1/6

- モアデッキを上げます。刈取り高さカム (A) の 5 番目の段差 (B) がベルクランク (C) に向くまで刈取り高さコントロールダイヤルを回します。モアデッキをいっぱいまで下ろします。

⚠ 注意： 回転しているブレードは危険です。モアの調整や整備の前に：

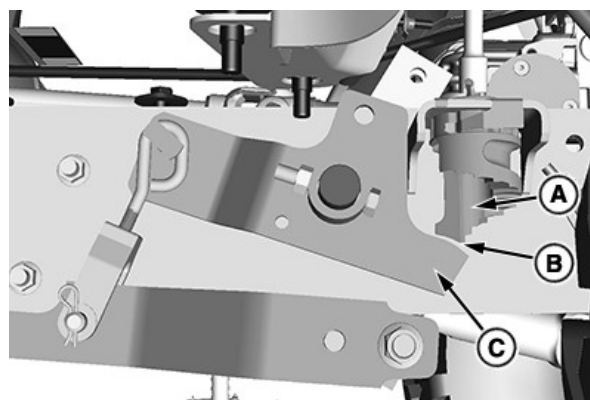
- エンジンが誤って始動しないように、バッテリーのマイナス (-) ケーブルの接続を外してください。
- モアブレードを取り扱うとき、またはブレードの周辺で作業するときは、必ず手袋を着用してください。

- エンジンを停止してキーを抜き、「操作禁止」タグを運転プラットフォームにかけてください。

- 運転席を離れる前に、エンジンとすべての可動部が停止するのを待ちます。

- バッテリーのマイナスケーブル (-) の接続を外します。

次のページへ



LV30215—UN—15AUG18

A : 刈取り高さカム
B : 5 番目の段差

C : ベルクランク

UP00731,00005B1-40-15AUG18-2/6

注記：モア前部の刃をモア後部の刃よりも低く調整します。

水平調整中は、モアのホイールを地面に接触させないでください。

8. 図のように左の刃 (A) を回します。駆動ベルトを保持して、図のように右の刃 (B) を回します。各刃の両端で、刃の先端から表面までを測定し、仕様と比較します：

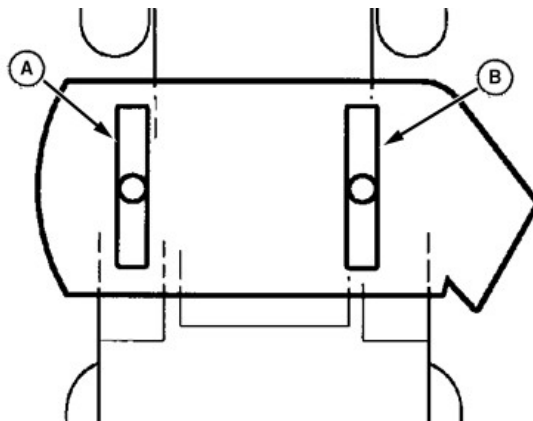
仕様

刃の先端の前後 (前部は下端です)：

高低差..... 3 mm
0.125 in

A : 左の刃

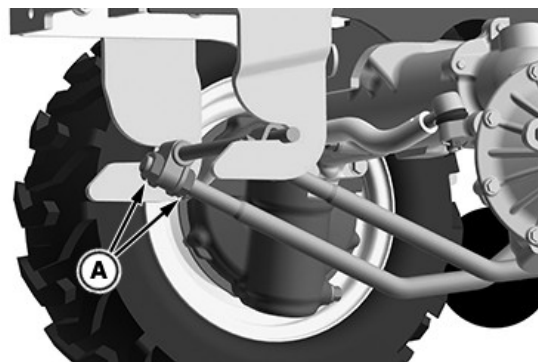
B : 右の刃



LV24010-UN-04AUG15

UP00731,00005B1-40-15AUG18-3/6

9. 前後の差が仕様内の場合は、ドラフトリンクのナット (A) を締め付けて、手順 12 に進みます。
10. 前後の差が 13 mm (0.50 in) を超えている場合は、ドラフトリンクのナット (A) を緩めます。
- デッキの前部を上げるには、ドラフトリンクを短くします。
 - デッキの前部を下げるには、ドラフトリンクを長くします。
 - 手順 4 に戻って前後のレベルを測定します。
11. 前後の差が 3 mm (0.125 in) を超え、13 mm (0.50 in) 未満の場合は、ドラフトリンクのナット (A) を締め付けます。

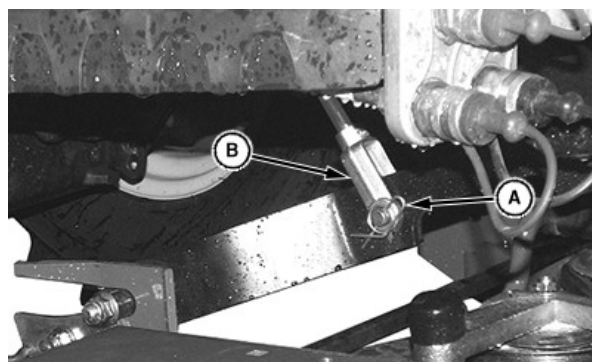


A : ドラフトリンクのナット (4 個使用)

LV30217-UN-14AUG18

UP00731,00005B1-40-15AUG18-4/6

- バッテリーのマイナスケーブルを接続します。
 - デッキを地面に下ろしてエンジンを停止し、キーを抜きます。
 - 両方のターンバックル (B) をリフトアームに固定しているロックピン (A) とピボットピンを取り外します。
 - 両方のターンバックルアセンブリを同じ回数回して短くし、デッキの後部を上げます。
 - 両方のターンバックルアセンブリを同じ回数回して長くし、デッキの後部を下げます。
 - 調整が完了したらロックピンを取り付けます。
 - 前の手順に戻って前後のレベルを測定します。
12. バッテリーのマイナスケーブルを接続します。



A : ロックピン

B : ターンバックル

LV24009-UN-04AUG15

13. デッキを地面に下ろしてエンジンを停止し、キーを抜きます。

次のページへ

UP00731,00005B1-40-15AUG18-5/6

14. ドラフトリンクの隙間 (A) を測定して仕様と比較します。

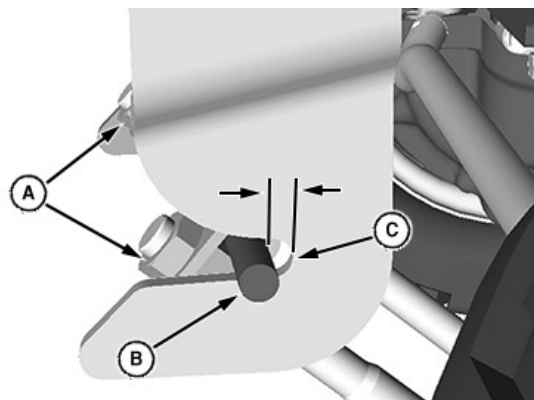
仕様

ドラフトリンクの隙間：距離..... 3 mm
0.125 in

- 平らでない地面には大きい隙間が必要で、水平な地面には小さい隙間が必要です。隙間が大きすぎると、前後のレベル (水平度) に影響があります。隙間が小さすぎると、ロックが正しく機能しません。

15. ドラフトリンクの隙間が仕様を満たしていない場合は、ドラフトリンクのナット (A) を緩めます。

- ドラフトリンクの隙間を減らすには、ドラフトリンクを短くします。
- ドラフトリンクの隙間を増やすには、ドラフトリンクを長くします。
- 前の手順に戻って前後のレベルを測定します。



A : フロントドラフトリンクのナット B : ピボットピン

16. ドラフトリンクの隙間が仕様を満たしている場合、前後のレベル調整は完了です。

UP00731,00005B1-40-15AUG18-6/6

デッキ高さの調整

1. モアが水平であることを確認します。

UP00731,0000524-40-15AUG18-1/4

2. モアデッキを完全に上げて、モアリフトストップとトラクターフレーム間で、モアストップとトラクターフレームの隙間 (A) を測定します。測定値を仕様と比較します。

仕様

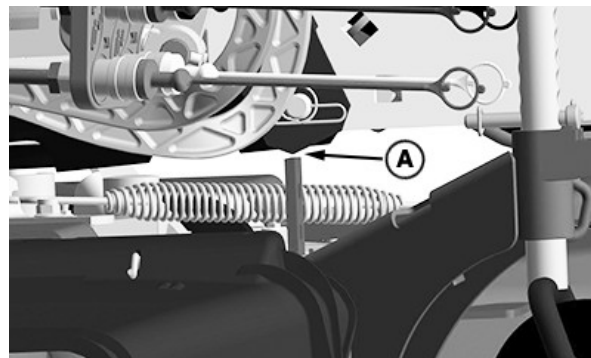
モアストップとトラクターフレーム間の隙間 (A) : 距離..... 3 mm
0.125 in

3. モアストップとトラクターフレーム間の隙間が仕様を満たしている場合、デッキ調整は完了です。

注記：さらに調整が必要な場合は、モアストップとトラクターフレーム間の隙間を正常に設定した後、デッキの側方および前後の手順を実施します。

モアストップとトラクターフレーム間の隙間を正しく調整できない場合は、ロックシャフトリンケージと吊上げ用ストラップリンケージのいずれかまたは両方が調整範囲外です。適切な調整手順については、John Deere™ 販売店にお問い合わせください。

4. モアストップとトラクターフレーム間の隙間が仕様を満たしていない場合：



A : 隙間

- モアデッキを地面まで下げます。
- エンジンを停止し、キーを抜きます。
- 運転席を離れる前に、エンジンとすべての可動部が停止するのを待ちます。

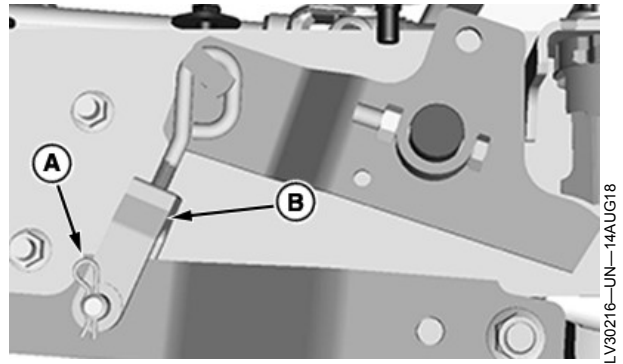
次のページへ

UP00731,0000524-40-15AUG18-2/4

- d. 両方のターンバックル (B) をリフトアームに固定しているロックピン (A) とピボットピンを取り外します。
- e. 隙間を減らすには、ターンバックルアセンブリを同じ回数回して短くします。
- f. 隙間を増やすには、ターンバックルアセンブリを同じ回数回して長くします。
- g. ターンバックルをリフトアームに取り付けます。
- h. モアを完全に上げてエンジンを停止し、キーを抜きます。

A : ロックピン

B : ターンバックル



UP00731,0000524-40-15AUG18-3/4

- i. モアリフトストップとトラクターフレームの間で、モアリフトストップとトラクターフレーム間の隙間 (A) を測定します。測定値を仕様と比較します。

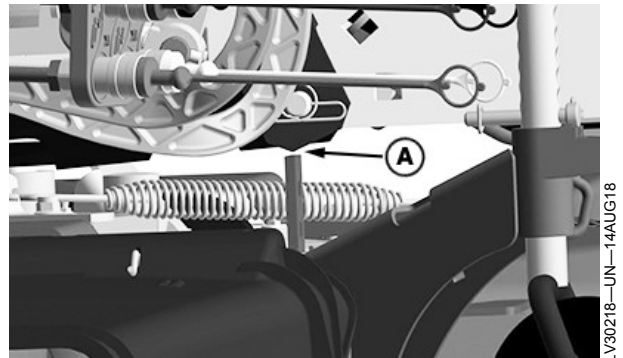
仕様

モアリフトストップとトラクターフレーム間の隙間 (A) : 距離..... 3 mm
0.125 in

- j. モアストップとトラクターフレーム間の隙間が仕様を満たすまで、手順 a~i を繰り返します。

5. 側方と前後の調整手順を実施します。

A : 隙間



UP00731,0000524-40-15AUG18-4/4

モアホイールの調整

重要： 損傷を防止してください。モアホイールを不適切に調整すると、モアデッキが損傷する可能性があります。

- 走行中のホイールにモアの重量がかからないようにしてください。
- 刈り高を変更するたびに、ホイール調整を点検してください。

1. 機械を傾斜面ではなく水平な場所に駐車します。
2. モアの刃の接続を解除します。

3. 必要な刈取り高さまでモア高さコントロールノブを調整します。
4. 駐車ブレーキをロックします。
5. エンジンを停止し、キーを抜きます。
6. 運転席を離れる前に、エンジンとすべての可動部が停止するのを待ちます。
7. ゲージホイール高さの設定：

次のページへ

UP00731,0000374-40-30JUL15-1/2

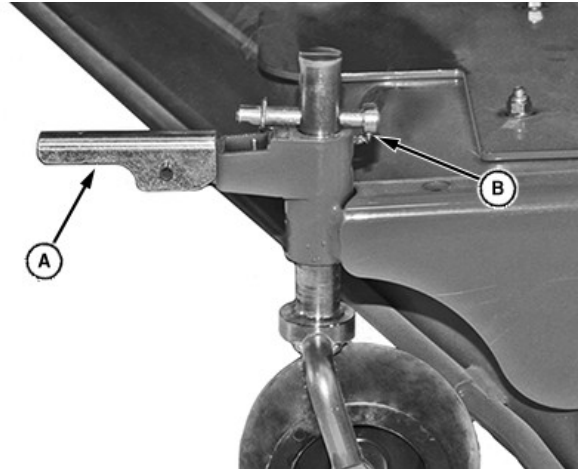
- a. ゲージホイールロック (A) を解放します。
- b. ホイールアセンブリを調整して、ゲージホイールと地面間の距離を 9.5 mm (3/8 in) にします。

重要： 損傷を防止してください。ロックブラケットの上に 1 つ以上の穴が残っていることを確認してください。極端な刈り取り条件では、ホイールを完全に引っ込めて損傷を防止します。

- c. スナップロックピン (B) をゲージホイールブラケットのすぐ上にある穴に取り付けます。
- d. 残りのゲージホイールについても繰り返します。

A : ゲージホイールロック

B : ロックピン



LV24013—UN—04AUG15

UP00731,0000374-40-30JUL15-2/2

操作

モアの上昇・下降

この機械には、機械式または油圧式リフトシステムを装備できます。両方のシステムで刈取り高さコントロールは同じです。

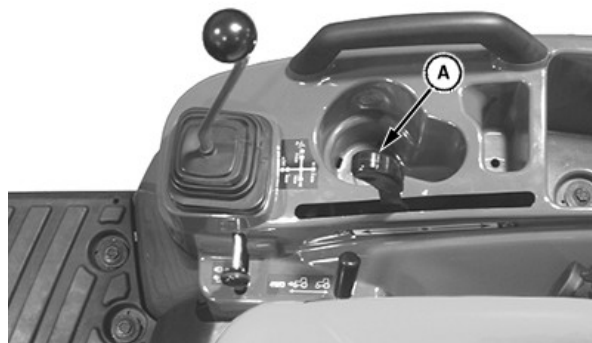
機械式リフトシステム

重要： 機械式リフトシステムの使用時は損傷を防止してください。意図しない動作を防止するため、機械を刈り取り作業に使用する場合は作業機やアタッチメントを 3 点ヒッチに連結しないでください。

UP00731,0000523-40-14FEB18-1/4

機械式モアリフトキットは、機械のロックシャフトに接続され、コントロールレバー (A) で操作します。操作手順については、お使いのトラクターの取扱説明書を参照してください。

A : ロックシャフトコントロール
レバー



LV24004—UN—04AUG15

モデル 1023E

UP00731,0000523-40-14FEB18-2/4

油圧式モアリフトシステム

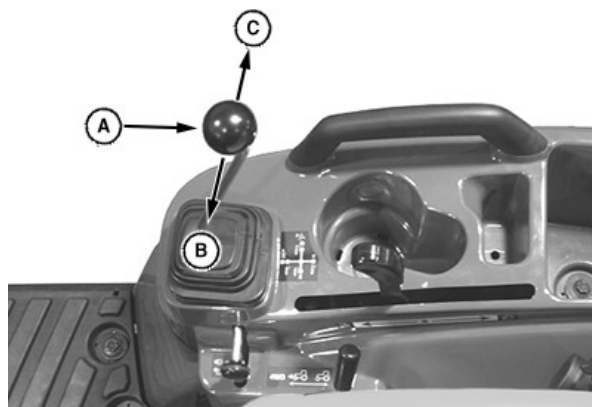
油圧式モアリフトシステムは機械のロックシャフトとは無関係に作動し、機械の SCV レバー (A) で操作します。操作手順については、お使いの特定のモデルの取扱説明書を参照してください。

モアの上昇：

1. SCV レバー (A) を左に引いて、モアを上昇させます (B)。
2. 必要に応じて、刈取り高さを調整します。

モアの下降：

SCV レバー (A) を少し右に押して、モアを下降させます (C)。再生機能を起動させないでください。レバーをいっぱいまで右に押さないでください。



LV24005—UN—04AUG15

モデル 1023E

A : SCV レバー
B : モアの上昇

C : モアの下降

次のページへ

UP00731,0000523-40-14FEB18-3/4

刈取り高さの調整

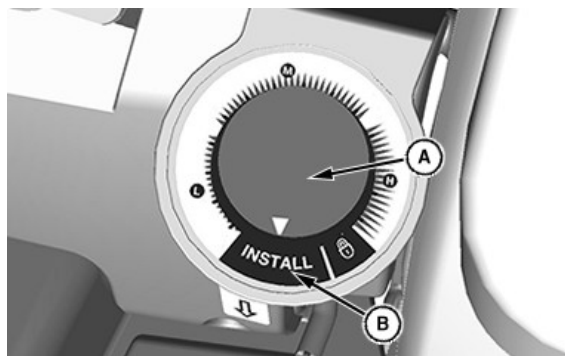
モアの刈取り高さはオペレータの左側のコントロール (A) により調整します。いずれかの種類のリフトシステムを使用して、モアを最高位置まで上昇させて、以下の手順に従って刈取り高さコントロールを調整します：

- 取り付け (B)—モアの取り外しや取り付けが必要になるたびにコントロールをこの位置まで回して、モアリフト機構を下降させます。

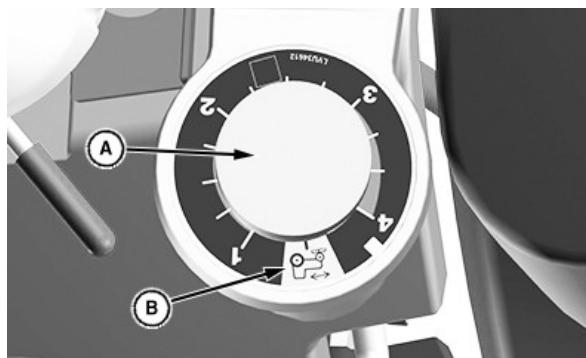
- 刈取り高さ範囲—コントロールをこの範囲の任意の位置まで回して必要な刈取り高さを選択します。

- L—M—H 方式の刈取り高さラベル
- 1—4 方式の刈取り高さラベル

A：刈取り高さコントロール B：取り付け位置



L—M—H 方式の刈取り高さラベル



1—4 方式の刈取り高さラベル

LV29620—UN—20DEC17

LV29689—UN—14FEB18

UP00731,0000523-40-14FEB18-4/4

モアの接続

1. 機械のオペレータマニュアルに付属のミッド PTO の使用に関する説明を参照してください。

2. 機械のオペレータマニュアルの指示に従ってミッドPTOとモアを接続します。

UP00731,0000069-40-26AUG13-1/1

モアの詰まりの除去

⚠ 注意： けがを防止してください。機械の作動中はアタッチメントを外さないでください。

- 回転しているブレードは危険です。シートから離れて機械やアタッチメントを点検する前に、エンジンを OFF にしてキーを抜き取ってください。
- 飛来物によって大けがをするおそれがあります。ホッパートップを上げたり、シュートを取り外す

前に、すべての機械の部品が停止していることを確認してください。

1. 機械を安全に駐車します。動いている部品がすべて停止してから、機械から降りて機械を点検します。
2. モアデッキの下および排出シュートにごみがないか点検します。
3. ごみを除去して、正常な作動を確認します。

UP00731,000006A-40-06AUG15-1/1

機械に載せたモアの輸送

モアを最高位置まで上昇させて、刈取り高さコントロールをロック位置まで回します。

UP00731,0000376-40-30JUL15-1/1

トレーラーによる機械の輸送

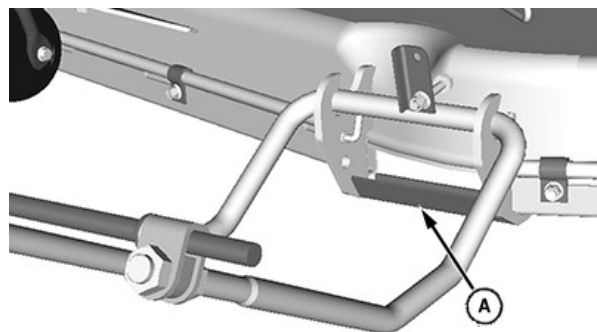
輸送の情報については、機械の取扱説明書を参照してください。

UP00731,0000377-40-30JUL15-1/1

取り外しと保管

モアの取り外し

1. 機械を傾斜面ではなく水平な場所に駐車します。地面条件が軟らかい場合は、モアの下降および取り外し時にベニヤ板をモアフロントドラフトスキッド (A) の下に配置します。
2. フロントウエイトを取り外します (取り付けていた場合)。モアを取り付けた後、ウエイトを元の位置に取り付けます。
3. 駐車ブレーキをロックします。
4. モアの刃の接続を解除します。
5. モアを降ろすためにトラクターを後方に動かすことができること、およびトラクターのホイールを旋回させる前にデッキから完全に後進できる十分なスペースがあることを確認します。
6. ゲージホイールのロックを解除し、刈取り高さコントロールを INSTALL (取り付け) 位置に設定します。6.



A : フロントドラフトスキッド

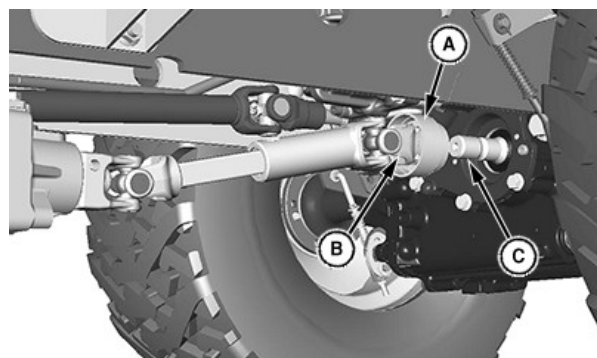
7. モアを地面まで降ろし、エンジンを止めます。

UP00731,0000370-40-06AUG15-1/5

8. 標準型駆動軸モデルのみ：駆動軸を以下の手順に従って取り外します：
 - a. 駆動軸カラー (A) を機械の前部に向けて引っ張り、ヨークロックを解放します。
 - b. PTO シャフト (C) から離れるまで、リアヨークアセンブリ (B) を機械の前部に向けて引っ張ります。

A : 駆動軸カラー
B : ヨークアセンブリ

C : PTO シャフト



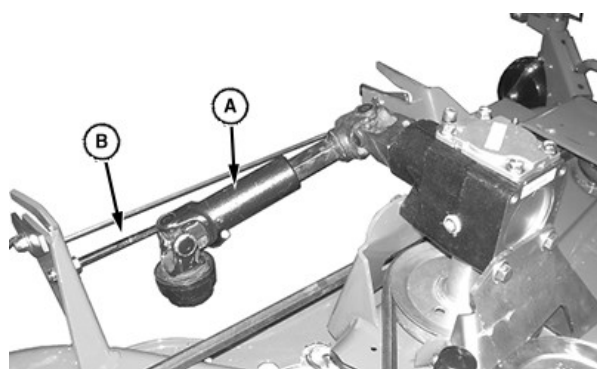
標準型駆動軸モデルのみ

UP00731,0000370-40-06AUG15-2/5

- c. リアヨークアセンブリ (A) をモアの右側のハンガー (B) に配置します。

A : ヨークアセンブリ

B : ハンガー



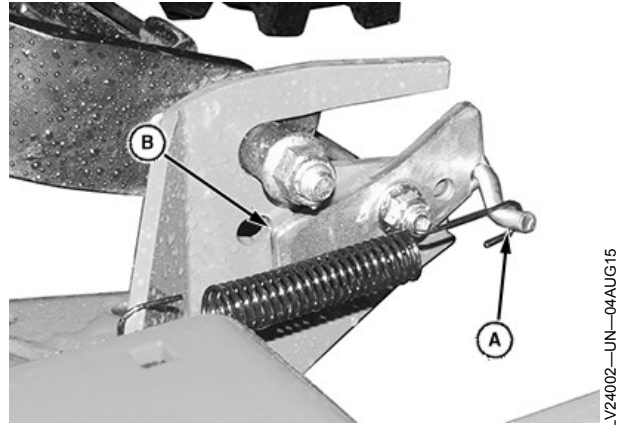
次のページへ

UP00731,0000370-40-06AUG15-3/5

9. ロックレバー (A) を上げて、左右のリアモアロック (B) を解放します。ロックが固着している場合は、モアを機械上で後方に引っ張ります。
10. エンジンを始動してトラクターの MFWD をローレンジに入れます。
11. トラクターをゆっくりとまっすぐに後進させてモアから離します。
12. リフトシステムを完全に上昇させて、刈取り高さコントロールをロック位置に回します。

A : ロックレバー

B : モアロック

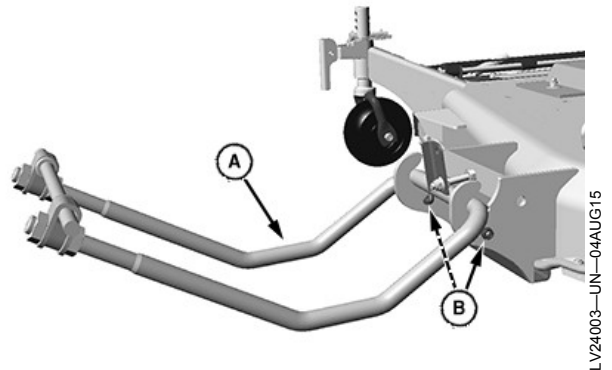


UP00731,0000370-40-06AUG15-4/5

注記： フロントドラフトリンクアセンブリをハンドルとして使用してモアデッキを動かしたり位置を変えたりしないでください。

13. 保管のためにモアを取り外す場合：

- a. フロントドラフトリンクアセンブリ (A) を取り外します。
 - b. テンションスプリングとロックピン 2 本 (B) を取り外します。
 - c. リフトリンクアセンブリをモアから取り外します。
 - d. 後で取り付けるためにすべての部品を保管します。
14. 前の手順で取り外したウエイトを元の位置に取り付けます。



A : フロントドラフトリンクアセンブリ B : ロックピン

UP00731,0000370-40-06AUG15-5/5

モアの保管

⚠ 注意： ブレードは鋭利です。モアデッキを機械に取り付けて保管しないでください。また、ブレードを露出させた状態で機械から取り外さないでください。モアデッキを地面に平らに横たえて保管します。

1. 機械からモアを取り外します。(モアを機械に取り付けて機械を保管する場合は、機械のオペータマニュアルの「機械の保管」を参照してください)。
2. 水圧またはスクレーバを使用してモアの下側を清掃します。
3. ブレードの点検：
 - 切れが鈍くなったブレードは研磨してバランスを取ります。
 - 損傷しているブレードは交換します。

4. デッキ上部およびすべてのシーブの周囲を清掃します。
5. ベルトの状態を点検します。必要に応じて、新品のベルトに交換します。保管状態からモアを復帰させるまで新品のベルトは取り付けしないでください。
6. 摩耗や損傷のある部品は修理または交換します。
7. 錆止めが必要な箇所にタッチアップペイントを塗ります。
8. グリースポイントを潤滑します。
9. ベルトの張力を解放します。
10. 清潔で乾燥した場所にモアを保管します。
11. モアを屋外に保管する場合は、防水カバーで覆います。

UP00731,0000063-40-26AUG13-1/1

整備

整備間隔

10 時間ごと

- 乾燥した条件で操作している場合は、モアからごみを除去します。

25 時間ごと

- スピンドルの潤滑
- ドライブシャフトの潤滑

- モアブレードの点検
- モアベルトの点検

100 時間ごと

- ギアボックスオイルレベルの点検
- モアの洗浄

500 時間ごと

- ギアボックスオイルの交換

UP00731,000006C-40-26AUG13-1/1

グリース

重要： 損傷を防止してください！ 部品の故障や早期摩耗を回避するために、推奨される John Deere グリースを使用してください。推奨 John Deere グリースは、平均気温 -29 ~ 135°C (-20 ~ 275°F) の範囲で有効です。この温度範囲外で運転する場合は、特殊用途グリースについて整備取扱店にお問い合わせください。

次のグリースをお勧めします。

- John Deere Multi-Purpose SD Polyurea Grease

- John Deere Multi-Purpose HD Lithium Complex Grease

推奨グリースを使用していない場合は、NLGI Grade 2 の一般的な汎用グリースを使用していることを確認してください。

湿潤または高速条件では、特殊用途用のグリースを使用しなければならない場合があります。詳しくは、整備取扱店にお問い合わせください。

UP00731,000006E-40-26AUG13-1/1

ギアオイル

次のオイル交換までの期間に予期される気温範囲に基づいたオイル粘度を使用してください。

John Deere GL-5 ギア潤滑剤を推奨します。

以下のいずれかに適合する他のオイルも使用できます。

- API整備点検等級GL-5
- MIL規格MIL-L-2105D
- MIL規格MIL-L-2105C
- MIL規格MIL-L-2105B

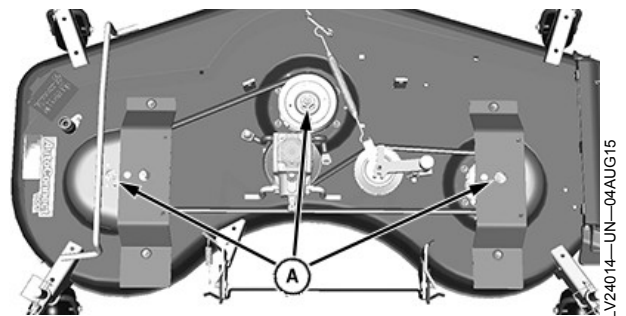
MIL 規格 MIL-L-10324A に適合するオイルは極寒冷地用オイルとして使用できます。

UP00731,000006F-40-26AUG13-1/1

モアの潤滑

1. シープのグリースニップル 3 個 (A) を推奨グリースで潤滑します。

A : シープのグリースニップル



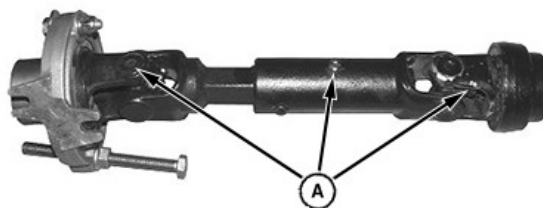
60D モア

次のページへ

UP00731,0000378-40-30JUL15-1/2

- ミッド PTO のグリースニップル 3 個 (A) を推奨潤滑剤で潤滑します。

A : ミッド PTO のグリースニップル



LV24015-UN-04AUG15

UP00731,0000378-40-30JUL15-2/2

ギヤボックスの整備

オイルレベルの点検

- ギヤボックスの片側からプラグを取り外します。
- オイルレベルはプラグ穴の下端と一致している必要があります。
- オイルレベルが低い場合は、推奨オイルを追加します。

- プラグを取り付けます。

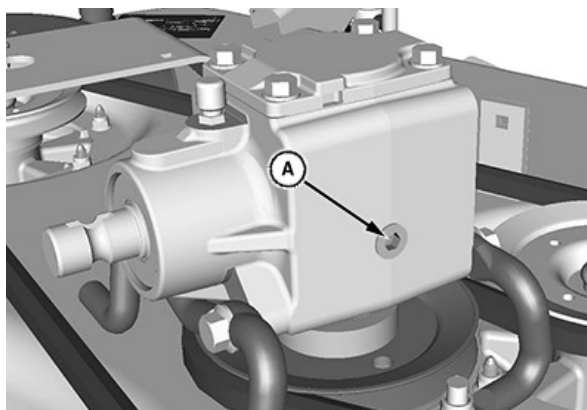
オイルの交換

- ギヤボックスブラケットと一緒にギヤボックスを取り外します。追加情報については、組み立てセクションを参照してください。

UP00731,0000379-40-30JUL15-1/2

- ギヤボックスの両側からプラグ (A) を取り外します。
- ギヤボックスを持ち上げて回転させ、オイルをギヤボックスから排出させます。
- ベルトをギヤボックスのシープに取り回して、ギヤボックスをデッキの上に下ろします。ギヤボックスブラケットをデッキに固定します。追加情報については、組み立てセクションを参照してください。
- ギヤボックスのプラグ穴の下端まで推奨オイルを追加します。
- プラグを取り付けます。

A : プラグ



LV24016-UN-04AUG15

UP00731,0000379-40-30JUL15-2/2

モアベルトの整備

ベルトの取り外し

- モアを機械から取り外します。

- 傾斜路の周囲および下部を清掃します。

次のページへ

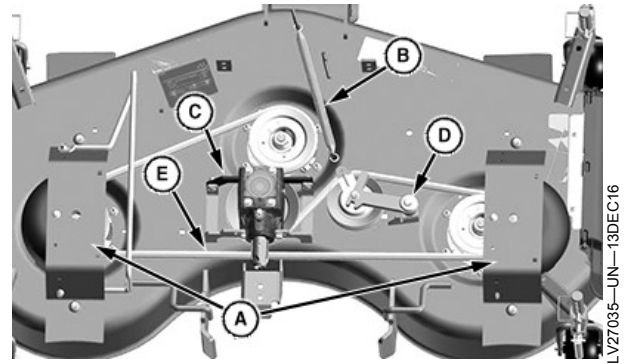
UP00731,000037A-40-09DEC16-1/2

3. 両方の乗入れ傾斜路とシールドを取り外します。
4. スプリング (B) を取り外してベルト張力を解放します。
5. リアギヤボックスサポート (C) を取り外します。
6. テンショナプーリーアセンブリを固定しているダストキャップ、スナップリング、平座金 (D) を取り外してプーリーアセンブリを取り外します。
7. ベルト (E) をモアから取り外します。

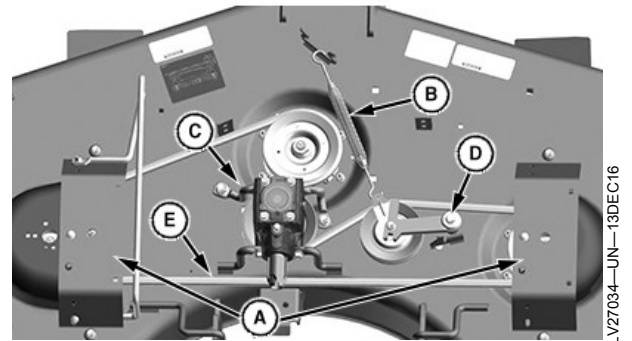
ベルトの取り付け

1. シープの周囲にベルトを取り付けて図のように取り回します。
2. プーリーアセンブリを取り付けて、テンショナプーリーアセンブリを固定しているダストキャップ、スナップリング、平座金 (D) を使用して固定します。
3. リアギヤボックスサポート (C) を元のハードウェアを使用して取り付けます。
4. テンショナスプリング (B) を取り付けます。
5. 左右の乗入れ傾斜路 (A) とシールドを取り付けます。

A : 傾斜路
B : スプリング
C : ギヤボックスサポート
D : 座金
E : ベルト



54D モア



60D モア

UP00731,000037A-40-09DEC16-2/2

モアの刃の整備

⚠ 注意： けがを防止してください。ブレードは鋭利です。ブレードを取り扱う時、またはブレードの周辺で作業する場合は、必ず手袋を着用してください。

不良な場合はブレードを交換します。絶対にまっすぐにしたり溶接したりしないでください。

モアの曲がった刃の点検

1. 機械を傾斜面ではなく水平な場所に駐車します。
2. モアのブレードの接続を解除します。

3. モアを完全に上昇させます。
4. 駐車ブレーキをロックします。
5. エンジンを停止します。
6. キーを抜きます。
7. オペレータシートを離れる前に、エンジンとすべての可動部が停止するのを待ちます。
8. モアをブロックします。

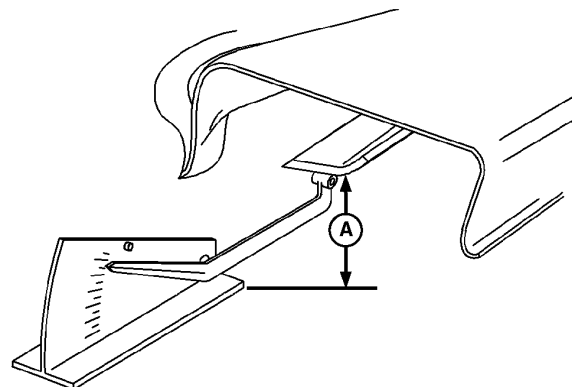
次のページへ

UP00731,000037B-40-06AUG15-1/8

9. ブレードの選択から水平面までの距離 (A) を定規または John Deere 取扱店で入手できるレベルングゲージを使用して測定します。
10. ブレードを 180° 回転させ、ブレードの他端と水平面の間の距離を測定します。
11. すべてのブレードを点検します。測定値の差が 3 mm (1/8 in) を超えている場合は、新品のブレードを取り付けます。

モアブレードの取り外し

1. 機械を安全に駐車します。
2. モアを機械から取り外します。
3. 適切なリフト装置を使用してモアを上昇させ、ブレードにアクセスします。
4. 刃とモアの間にウッドブロックを挿入して、ボルトを取り外すときに刃が回転しないようにします。



A : 距離 - 刃から水平面まで

LV18692—UN—20AUG13

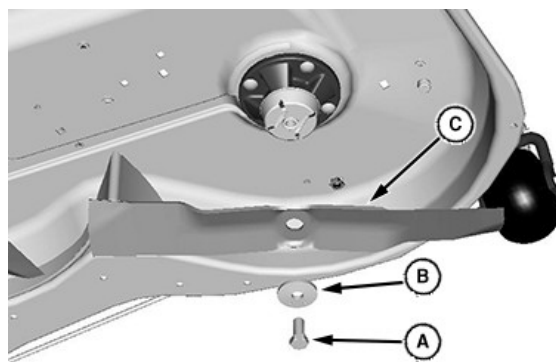
5. 刃の取り外し :

UP00731,000037B-40-06AUG15-2/8

- a. 54D - ボルト (A)、座金 (B)、刃 (C) を取り外します。

A : ボルト
B : 座金

C : 刃



54D デッキ

LV24019—UN—04AUG15

UP00731,000037B-40-06AUG15-3/8

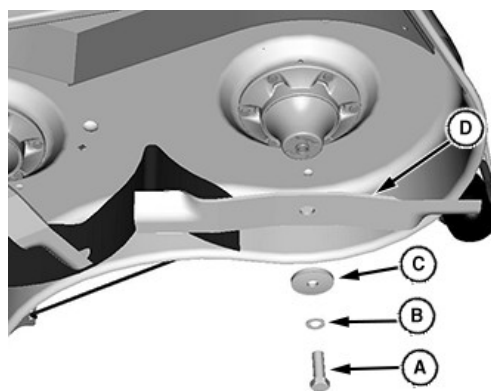
- b. 60D - ボルト (A)、座金 (B)、座金 (C)、刃 (D) を取り外します。

モアの刃の取り付け

1. 刃先を地面に向けて刃を取り付けます。

A : ボルト
B : 座金

C : 座金
D : 刃



60D デッキ

LV24020—UN—04AUG15

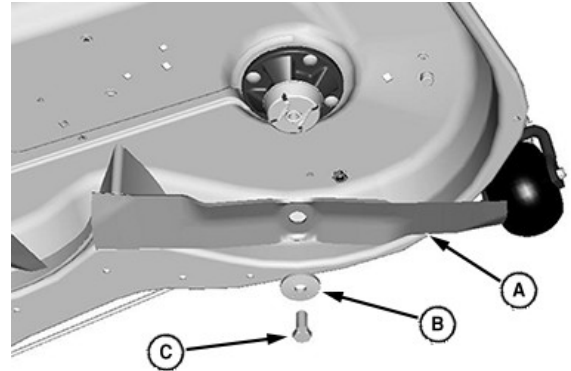
UP00731,000037B-40-06AUG15-4/8

次のページへ

- a. 54D - 刃先を地面に向けて刃 (A)、座金 (B)、ボルト (C) を取り付けます。

A : 刃
B : 座金

C : ボルト



54D デッキ

UP00731,000037B-40-06AUG15-5/8

LV24021—UN—05AUG15

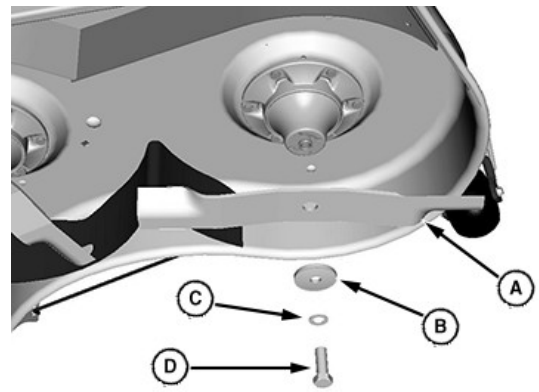
- b. 60D - 刃先を地面に向けて刃 (A)、座金 (B)、座金 (C)、ボルト (D) を取り付けます。

2. 刃とモアの間に木片を挿入して、ボルトを締め付けるときに刃が回転しないようにします。

- 54D のボルトを 68 N・m (50 lb-ft) のトルクで締め付けます。
- 60D のボルトを 122 N・m (90 lb-ft) のトルクで締め付けます。

A : 刃
B : 座金

C : 座金
D : ボルト



60D デッキ

UP00731,000037B-40-06AUG15-6/8

LV24022—UN—05AUG15

刃の研磨

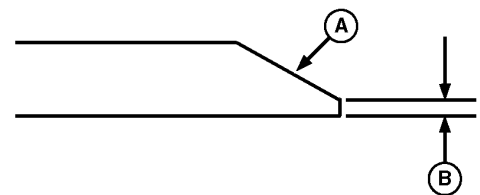
⚠ 注意： けがを防止してください。回転しているブレードは危険です。モアの調整や整備の前に：

- エンジンが急に始動しないように、スパークプラグワイヤまたはバッテリーのマイナス (-) ケーブルの接続を外してください。
- モアブレードを取り扱うとき、またはブレードの周辺で作業するときは、必ず手袋を着用してください。

1. グラインダ、やすり、電動ブレードシャープナーを使用してブレードを研磨します。

- 研磨中は本来の先端の斜角 (A) を残します。
- ブレードの刃先は 0.40 mm (1/64 in) 未満にする必要があります。

2. 取り付けるブレードのバランスを取ります。



A : 面取り角

B : 刃先

ブレードのバランス調整

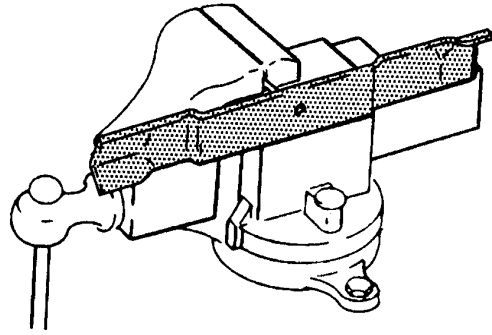
1. ブレードを清掃します。

次のページへ

UP00731,000037B-40-06AUG15-7/8

LV18695—UN—20AUG13

2. バイスの釘または縦壁のスタッドボルトにブレードを取り付けます。ブレードを水平にします。バランスが取れていない場合、重い方の端が下がります。
3. 重い方の端部の斜角を研削します。ブレードの斜角を変えないでください。



LV18696—UN—20AUG13

UP00731,000037B-40-06AUG15-8/8

ホイールの交換

1. 機械を傾斜面ではなく水平な場所に駐車します。
2. モアのブレードの接続を解除します。
3. モアを完全に上昇させます。
4. 駐車ブレーキをロックします。
5. エンジンを停止します。
6. キーを抜きます。
7. 運転席を離れる前に、エンジンとすべての可動部が停止するのを待ちます。

UP00731,000037C-40-06AUG15-1/2

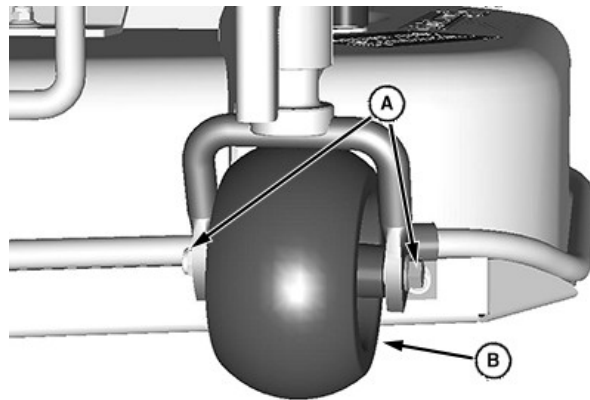
8. ホイール金具 (A) を取り外します。

重要： 損傷を防止してください。ホイール金具を締め付けすぎないでください。金具を締め付けすぎると、ブッシングが損傷します。

9. 新品のホイール (B) と金具を取り付けます。

A： ホイールハードウェア

B： ホイール



LV24023—UN—04AUG15

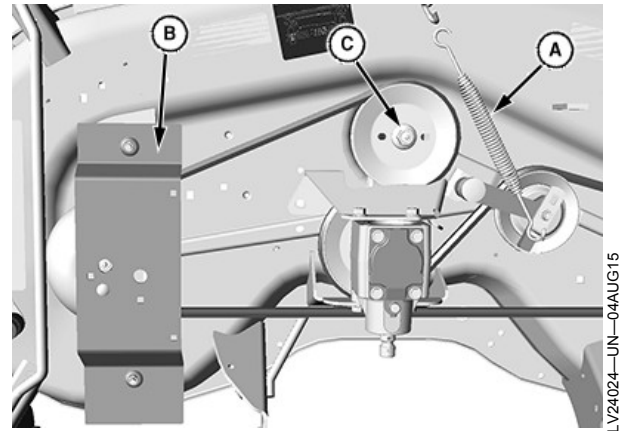
UP00731,000037C-40-06AUG15-2/2

シーブの交換

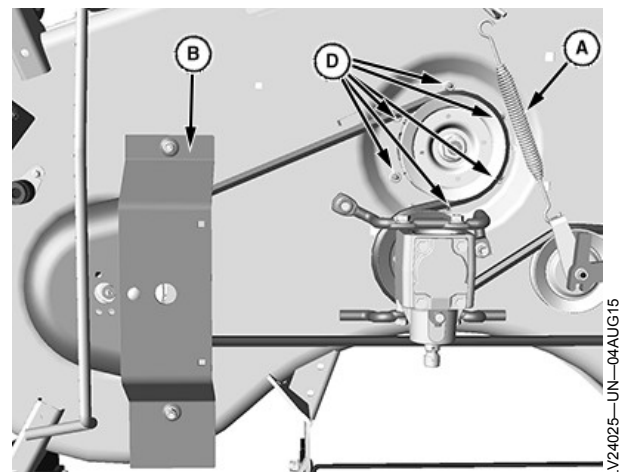
1. スプリング (A) を取り外してベルト張力を解放します。
2. 必要に応じて、乗入れ傾斜路 (B) を取り外します。
3. ボルトの取り外し :
 - a. 54 D モア : 交換するシーブのセンターボルト (C) を取り外します。
 - b. 60 D モア : 交換するシーブのボルト 6 本 (D) を取り外します。
4. シーブを交換して元のハードウェアで固定します。
5. 傾斜路を元の位置に取り付けます (取り外した場合)。

A : スプリング
B : 傾斜路

C : センターボルト
D : ボルト



54D モア



60D モア

UP00731,000037D-40-06AUG15-1/1

トラブルシューティング

トラブルシューティング表の使用

この表に掲載されていない問題が発生する場合は、整備について John Deere™ 販売店にお問い合わせください。

掲載されているすべての原因を確認し、引き続き問題が発生する場合は、John Deere™ 販売店にお問い合わせください。

KN52281,1003F58-40-22AUG12-1/1

モアデッキのトラブルシューティング

症状	点検
排出シュートが詰まる	• ベルトが不適切に取り付けられています。 • 草が濡れすぎています。 • 草が長すぎます。 • エンジンをフルスロットルにしてください。 • デッキの後部が低すぎます。
刈られていない草の区域がある	• 走行速度が速すぎます。 • エンジンをフルスロットルにしてください。 • ブレードの切れが鈍くなっています。 • 刈り高の設定が高すぎます。
ベルトのスリップ	シーブの周りにごみがあります。 ベルトが磨耗しています。 モアが詰まっています。
振動が強すぎる	モアのデッキまたはシーブの周りにごみが堆積しています。 ドライブベルトが損傷しています。 損傷したプーリーまたはプーリーのアライメントがずれています。 ブレードのバランスがとれていません。
刈り取りが不均一	「前後左右のモアレベルの調整の手順」を参照してください。 走行速度が速すぎます。 ブレードが鈍くなっています。 タイヤ空気圧を点検します。 モアホイールを調整します。
後進フットペダルを踏み、アタッチメントを接続すると、モアが停止する	正常な状態。機械の取扱説明書のリバース作業機オプションの情報を参照。
刃が草の先端を刈っている	旋回速度が高すぎます。 地面に背の部分があります。 地面に凹凸があります。 タイヤ空気圧が低い。 刈り高が低すぎます。 ブレードが曲がっています。 モアホイールを調整します。
モアによりトラクターに下向きの負荷がかかる	旋回速度が高すぎます。 地面に背の部分があります。 地面に凹凸があります。 タイヤ空気圧が低い。 刈り高が低すぎます。 ブレードが曲がっています。 モアホイールを調整します。
刈り取りの配分が不均一	刈り高の設定が低すぎます。 刈り速度が速すぎる。 草が濡れすぎています。

UP00731,0000381-40-06AUG15-1/1

モアデッキの接続のトラブルシューティング

症状	点検
リアドラフトアームが完全に下らない	刈取り高さコントロールを取り付け位置に調整し、SCV またはロックシャフトレバーを使用してデッキを上昇 / 下降させます。 モアリフトリンクが高さストップカムのどのステップにも接触していない。 追加情報については、最大刈取り高さの調整を参照してください。
リアラッチが正しく機能していない。	モアの上に運転する前にリアロックアセンブリがロック位置にある必要があります。 リアロックアセンブリがロック位置とロック解除位置だけで停止する。注記：ロックアセンブリが位置の間で停止または固着する場合は、ピボットポイントの潤滑が必要な可能性があります。 リアロックアセンブリと周囲の部品が変形または曲がっていない。 モアの両側でリアリフトアームロッドを完全に下降させます。この機能は、SCV またはロックシャフトコントロールレバーにより制御されます。 追加情報については、モアデッキの取り付けを参照してください。
モアと地面条件が整合していない場合	モアを地盤の固い水平な場所に駐車していることを確認します。固い水平面上に駐車できない場合は、モアの前部の下にボードを配置します。 ゲージホイールがロック解除位置にある。 モアがトラクターの中心にある。 駆動軸の接続が正しく整列している (AutoConnect™ 駆動軸の場合のみ)。 駆動軸がハンガーに正しく取り付けられている (標準型駆動軸の場合のみ)。 フロントウェイトを装備している場合は、取り付けの前に取り外します。完了したらウェイトを元の位置に取り付けます。 追加情報については、モアデッキの取り付けを参照してください。
フロントドラフトアームの接続が正しくない	フロントドラフトリンクとフレームフックの隙間が 2-3mm (.08-.10 in) 以上。ドラフトリンクナットの調整が必要な場合があります。 ロックが解放しないまたは簡単にロックされる場合、フロントドラフトリンクとフレームリンクの隙間を増やす必要がある場合があります。 フロントドラフトリンクヨークの向きが正しく設定されている。 フロントドラフトリンクが適切な高さにあり、フレームフックの底部を引きづっていない。 追加情報については、モアデッキの取り付けを参照してください。

UP00731,0000387-40-06AUG15-1/1

仕様

モアデッキの仕様

54D モアデッキ

モアタイプ.....	マルチディスチャージまたはサイドディスチャージ
カッティングブレード.....	3
全幅.....	1.74 m (68.5 in)
全長.....	1.75 m (69 in)
刈り高 ^a	2.5 - 10.2 cm (1 - 4 in)
刈り幅.....	1.37 m (54 in)
モア重量.....	89 kg (197 lb)
ブレードのボルトのトルク.....	68 N·m (50 lb-ft)
ギアボックスのオイル容量.....	136 mL (4.6 oz.)
音響パワーレベル.....	104.5 +/- 1 dB(A) @エンジン回転数 3400 rpm

^a タイヤサイズに応じて異なります。

60D モアデッキ

モアタイプ.....	マルチディスチャージまたはサイドディスチャージ
カッティングブレード.....	3
全幅.....	1.85 m (72.8 in)
全長.....	1.82 m (71.6 in)
刈り高 ^a	2.5 - 10.2 cm (1 - 4 in)
刈り幅.....	1.52 m (60 in)
モア重量.....	117 kg (258 lb)
ブレードのボルトのトルク.....	122 N·m (90 lb-ft)
ギアボックスのオイル容量.....	136 mL (4.6 oz.)
音響パワーレベル.....	102.4 +/- 1 dB(A) @エンジン回転数 3400 rpm

^a タイヤサイズに応じて異なります。

UP00731,000037E-40-06AUG15-1/1

整備のお問い合わせ

整備マニュアル

この機械の部品カタログや技術マニュアルのコピーをお求めの場合は、次の連絡先にご連絡ください。

- 米国/カナダ： 1-800-522-7448.
- その他の地域： John Deere 取扱店。

AP43109,00002CF-40-15APR13-1/1

部品

John Deere 取扱店から入手可能な John Deere の高品質部品および潤滑剤をお勧めします。

部品を注文される場合、John Deere 取扱店はお客様の機

械やアタッチメントのシリアル番号や製品識別番号を必要とします。これらの番号は、このマニュアルの「製品識別」セクションに記録した番号です。

AP43109,00002D0-40-15APR13-1/1

整備部品のオンライン注文

インターネット経由の部品の注文と情報については、<http://JDParts.deere.com> にアクセスしてください。

AP43109,00002D1-40-15APR13-1/1

高品質な整備で John Deere 製品の高い品質を維持

お近くの John Deere 取扱店が提供する部品と整備サポートで製品の高い品質を維持できるよう、John Deere ではお客様のご質問や技術的な問題に対応するためのプロセスを提供しています。

お使いの製品に関して問題がある場合は、以下の手順でお問い合わせください。

- 1.アタッチメント、作業機または装置のオペレータマニュアルをご確認ください。
- 2.解決できない問題がある場合は、お近くの John Deere 取扱店にご連絡ください。
- 3.北米またはカナダでは、John Deere カスタマーコンタクトにご連絡ください。

- 1-800-537-8233 にお電話のうえ、製品のシリアル番号およびモデルをお知らせください。

AP43109,00002D2-40-15APR13-1/1

索引

	ページ		ページ
き		潤滑	45-1
		上昇と下降	40-1
ギアオイル	45-1	接続	40-2
キットの部品	15-1	保管	35-2
ギヤボックス		モアデッキ	
取り付け	15-2	トラブルシューティング	50-1, 50-2
整備	45-2	モアの刃	
く		整備	45-3
		モアベルト	
グリース	45-1	整備	45-2
し		モアホイール	
		交換	45-6
シーブ		取り付け	15-1
交換	45-7	調整	30-5
シグナルワード、理解	10-1	モアレベル	
て		調整 - 前後	30-2
		調整 - 側方	30-1
と		ら	
デッキ高さ		ラベル	
調整	30-4	安全	05-1
と		漢字	
トラブルシューティング表、使用	50-1	安全	
ふ		騒音対策	10-2
		間隔	
フロントドラフトリンク		整備	45-1
取り付け	15-4	駆動軸	
も		接続	25-4
モア		互換性	
詰まりの除去	40-2	製品	00-1
取り外し	35-1	仕様	60-1
取り付け	25-1	識別番号	00-1
		装置、必要	15-1
		排出シュート	
		取り付け	15-4

